

高 槽 A 遺 跡

TAKAYAGURA - A SITE

— 「パークスクエア都南中央」宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書 —

2009. 11

宮城開発株式会社
盛岡市教育委員会

例 言

- 1 本書は、岩手県盛岡市永井第24地割に所在する高櫓A遺跡において、宮城開発株式会社が行った「パークスクエア都南中央」宅地造成事業に伴い平成16・18・21年度に実施した発掘調査の報告書である。
- 2 本調査は、宮城開発株式会社と盛岡市教育委員会との間に締結された協定書に基づき、遺跡の学び館が野外調査及び出土資料整理・報告書編集を行った。また、本調査に係る費用は、事業主体である宮城開発株式会社より支出された。
- 3 本書の編集は盛岡市遺跡の学び館が行い、執筆作業を佐々木亮二・津嶋知弘が担当した。
- 4 土器・土製品の実測図化の一部は、タックエンジニアリング株式会社が行った。
- 5 遺構平面位置は、世界測地系 平面直角座標 X系を座標変換した調査座標で表示した。
 - ・調査座標軸は、世界測地系第 X系に準じる
 - ・調査座標原点 X -39,000,000 Y +28,000,000 → RX ±0 RY ±0
- 6 高さは、標高値をそのまま使用した。
- 7 土層断面図は堆積のしかたを重視し、線の太さを使い分けた。層相の観察にあたっては『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修）を使用した。
層名の記号は次のとおりとした。

記号	
遺構堆積土	A～I層
竪穴住居カマド崩壊土	J層
竪穴住居カマド構築土	K層
床構築土	L層
地形形成堆積土(遺物包含層含む)	I(ローマ数字)～層

- 8 遺構記号は次のとおりとした。

記号			
竪穴住居跡	RA	溝跡	RG
建物跡	RB	配石・集石遺構	RH
柱列跡	RC	井戸跡	RI
土坑	RD	土器埋設	RP
竪穴建物跡	RE	古墳・円形周溝ほか	RX
焼土遺構	RF	土坑墓ほか	RZ

- 9 遺構平面図の線種は次のとおりとした。

検出	実線	—————
推定	破線	- - - - -
時期差	一点鎖点	- . - . -

- 10 古代の竪穴住居跡のカマド方向は、カマド本体中心(焚き口)から煙道先端(煙出し)を結んだ線の方向の傾きとした。
- 11 古代の土器区分は、土師器・あかやき土器・須恵器に分類した。「あかやき土器」の名称は、ロクロ使用の酸化煙焼成土器(坏類、甕類、鉢)に使用し、ロクロ使用の内面黒色処理の坏類は土師器に分類した。
- 12 発掘調査に伴う出土遺物及び諸記録は、盛岡市遺跡の学び館で保管している。
- 13 当該調査の一部については、『盛岡市遺跡の学び館平成16年度館報』、『盛岡市遺跡の学び館平成18年度館報』等により報告しているものもあるが、本書の記載内容をもって訂正する。

目次

第1章 経過と遺跡の環境	
1. 遺跡の環境	1
2. 調査の経過	1
3. 調査体制	2
第2章 第2次・3次・5次調査成果	
1. 遺構と遺物	3
第3章 調査成果のまとめ	
1. 竪穴住居跡	13
2. 出土土器	13
3. 土製品	14
4. 鉄製品	14
5. 刻書土器	14

挿図

表

写真図版

抄録

挿図目次

第1図 遺跡位置図	16	第11図 RA006竪穴住居跡	23
第2図 高槽A遺跡全体図	16	第12図 RA007竪穴住居跡	23
第3図 高槽A遺跡発掘調査全体図	17	第13図 RA008竪穴住居跡	24
第4図 第2次調査区全体図	18	第14図 RA009竪穴住居跡	24
第5図 第3次・5次調査区全体図	19	第15図 RA010竪穴住居跡	25
第6図 RA001竪穴住居跡	20	第16図 RA011竪穴住居跡	25
第7図 RA002竪穴住居跡	20	第17図 RA012竪穴住居跡	26
第8図 RA003竪穴住居跡	21	第18図 RA013竪穴住居跡	26
第9図 RA004竪穴住居跡	21	第19図 RA014竪穴住居跡	27
第10図 RA005竪穴住居跡	22	第20図 RA015竪穴住居跡	27

第21図	RA016竪穴住居跡	28	第34図	RA029竪穴住居跡	34
第22図	RA017竪穴住居跡	28	第35図	RA030竪穴住居跡	35
第23図	RA018竪穴住居跡	29	第36図	RA031竪穴住居跡	35
第24図	RA019竪穴住居跡	29	第37図	RA032竪穴住居跡	36
第25図	RA020竪穴住居跡	30	第38図	RA033竪穴住居跡	36
第26図	RA021竪穴住居跡	30	第39図	RA034竪穴住居跡	36
第27図	RA022竪穴住居跡	31	第40図	出土土器(1)	37
第28図	RA023竪穴住居跡	31	第41図	出土土器(2)	38
第29図	RA024竪穴住居跡	32	第42図	出土土器(3)	39
第30図	RA025竪穴住居跡	32	第43図	出土土器(4)	40
第31図	RA026竪穴住居跡	33	第44図	出土土器(5)	41
第32図	RA027竪穴住居跡	33	第45図	出土土器(6)	42
第33図	RA028竪穴住居跡	34	第46図	出土土製品・石製品・鉄製品	43

表目次

第1表	出土土器観察表(1)	46	第3表	出土遺物観察表	48
第2表	出土土器観察表(2)	47	第4表	竪穴住居跡検討表	48

写真図版目次

第1図版	発掘調査区全景	50	第6図版	出土遺物(1)	55
第2図版	竪穴住居跡(1)	51	第7図版	出土遺物(2)	56
第3図版	竪穴住居跡(2)	52	第8図版	出土遺物(3)	57
第4図版	竪穴住居跡(3)	53	第9図版	出土遺物(4)	58
第5図版	竪穴住居跡(4)	54	第10図版	出土遺物(5)	59

第1章 経過と遺跡の環境

1. 遺跡の環境

高槽A遺跡は、JR東北本線岩手飯岡駅の東方約800mの場所に位置する（第1図）。遺跡の範囲は、東西約200m、南北約100mをはかる。遺跡の大部分は水田や畑地として利用されていたが、南北と東側は宅地化され、西側にも盛岡市都南中央公園の野球グラウンドが隣接する（第2図）。

遺跡は、雫石川と北上川の流路の転換によって形成された河岸段丘上に立地する。この周囲には、北東の三本柳地区に百目木遺跡・西鹿渡遺跡、北西の羽場地区に大島遺跡・一本松遺跡、南東の見前地区に上畑遺跡などがあり、発掘調査で奈良・平安時代の集落跡が確認されている。

2. 調査の経過

当該地については、平成15年度に宮城開発株式会社を仲介として地権者より宅地造成事業に係る埋蔵文化財調査の協議があり、盛岡市教育委員会事務局文化課（当時）が試掘確認調査（第1次調査）を行ったところ、古代の遺構・遺物が確認され、高槽A遺跡が集落跡であることが明確となった。この結果を受け、平成16年度に本調査実施に係る費用負担について、用地を取得した宮城開発株式会社と協議を行い、遺跡の学び館が第2次調査（本調査）を実施した。本調査期間中に調査現地説明会を実施し、地域の方々を中心に約130人の来跡があった。

平成17年度になり、第2次調査区の南隣接地で同社による宅地造成事業が再度計画され、本調査実施に係る費用負担について協議を行い、遺跡の学び館が第3次調査（本調査）を実施した。本調査期間中に、平成16年度に続き調査現地説明会を実施し、地域の方々に調査成果の紹介を行った。

平成20年度には、第3次調査区の南隣接地で宮城開発株式会社を仲介して地権者より宅地造成事業に係る埋蔵文化財調査の協議があり、平成21年度に盛岡市教育委員会事務局歴史文化課が試掘確認調査（第4次調査）を行ったところ、第3次調査区から続く古代の遺構・遺物が確認された。この結果を受け、本調査実施に係る費用負担について、用地を取得した宮城開発株式会社と協議を行い、遺跡の学び館が第5次調査（本調査）を実施し、出土資料・調査図面の整理、発掘調査報告書の編集を行った。

遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積 (㎡)	調査期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
高槽A	ITA	1	H15	試掘確認	永井24地割27-3他	952 (対象7,052)	2003.11.18	古代遺構・遺物多数	宅地造成	市教委 (文化課)	本書
		2	H16	本調査	永井24地割27-3他	5,530	2004.7.5~ 2004.10.7	古代竪穴住居跡19棟（1棟は3次調査区に続く）・円形周溝2基、古代以降土坑8基・溝跡1条	宅地造成	市教委 (遺跡の学び館)	H16館報 本書
		3	H18	本調査	永井24地割29-1他	3,703	2006.6.1~ 2006.8.11	古代竪穴住居跡11棟（1棟は3次調査区から、2棟は5次調査区に続く）・竪穴状遺構1基・土坑8基、近世以降掘立柱列群1・竪穴状遺構2基	宅地造成	市教委 (遺跡の学び館)	H18館報 本書
		4	H21	試掘確認	永井24地割34-2他	288 (対象1,405)	2009.4.6	古代遺構・遺物	宅地造成	市教委 (歴史文化課)	本書
		5	H21	本調査	永井24地割34-2他	1,400	2009.6.29~ 2009.7.15	古代竪穴住居跡9棟（2棟は3次調査区に続く）・土坑6基・溝跡1条・焼土遺構1基	宅地造成	市教委 (遺跡の学び館)	本書

高槽A遺跡発掘調査一覧表〔平成15～21年度〕

3. 調査体制

〔委託者〕 宮城開発株式会社

〔調査主体〕 盛岡市教育委員会

〔事務局〕 盛岡市教育委員会事務局文化課（～平成18年度）、歴史文化課（平成19年度～）

〔調査〕 盛岡市遺跡の学び館

〔助言〕 文化庁、岩手県教育委員会、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〔協力〕 発掘調査、資料整理、報告書編集にあたり、宮城開発株式会社には調査費用負担のほか多大な協力を得た。また、作業に従事した多くの発掘補助員、並びに県内文化財関係職員の方々より協力と御教示をいただいた。

〔発掘調査担当者〕 第2次調査（平成16年度） 三浦陽一・今野公顕

第3次調査（平成18年度） 室野秀文・菊地幸裕・松川光海

第5次調査（平成21年度） 佐々木亮二

盛岡市教育委員会文化財保護関係職員（平成21年度）

教育長 八巻恒雄

教育部長 菊地 誠

教育次長 佐藤義見

歴史文化課（事務局）

課長	武藤英富
課長補佐(文化財・史跡担当)	袖上 寛
課長補佐(埋蔵文化財担当, 兼務)	千田和文
主査(兼務)	杉浦雄治
文化財主査	室野秀文
文化財主査(兼務)	菊地幸裕
文化財主査(兼務)	津嶋知弘
文化財主任(兼務)	神原雄一郎
主任	岡 聡
文化財主任	権頭祐子
文化財主任	今野公顕
文化財主任	花井正香
文化財主任(兼務)	佐々木亮二
主事	小野寺幸子
主事補(兼務)	明地幹子
文化財調査員	高橋 史
文化財調査員	小西治子
文化財調査員	渡邊久美子

遺跡の学び館（施設）

館長(兼務)	武藤英富
館長補佐	千田和文
主査	杉浦雄治
文化財主査	菊地幸裕
文化財主査	津嶋知弘
文化財主任	神原雄一郎
文化財主任	佐々木亮二
主事補	明地幹子
文化財調査員	吉田里和
文化財調査員	鈴木賢治
文化財調査員	佐々木紀子
学芸調査員	相馬容子
学芸調査員	佐々木逸人

第2章 第2次・3次・5次調査成果

1. 遺構と遺物

平成16・18・21年度に本調査として実施した，第2次・3次・5次調査については，それぞれの調査区が隣接し，かつ複数の調査区にかかる遺構が存在することから，一連の調査として遺構・遺物の記述を行う。当該調査区は，遺跡の東半部を占め，総本調査面積は10,633㎡である。重機により表土を除去し，遺構精査を行った。調査の結果，古代の竪穴住居跡34棟（RA001～034）・円形周溝2基（RX001・002），古代以降の竪穴状遺構6基（RE001～006）・土坑22基（RD001～022）・溝跡4条（RG001～004）・焼土遺構1基（RF001），近世以降の掘立柱列群（RC001）を検出した（第3・4・5図）。また，各遺構より古代の土器（土師器・須恵器），土製品（勾玉・丸玉・紡錘車・ミニチュア土器・フイゴ羽口），石製品（砥石），鉄製品（鉄鏃・釣針）等が出土した。以下，紙面の都合により，主に竪穴住居跡及びその出土遺物についてのみ記述し，埋土詳細については特徴的なものを除き省略する。

・竪穴住居跡

RA001（第6図）

位置 2次調査区南西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 南北4.36m，東西4.20m，深さ0.21m カマド方向 N5°W，北カマド，長い煙道（1.25m）

床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面あり

出土遺物（第40・46図，第1・3表） 土師器坏〔非ロクロ〕・甕・球胴甕・甑，土製品（紡錘車1点）

時期 8世紀末～9世紀初頭

RA002（第7図）

位置 2次調査区西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西－南東4.66m，北東－南西4.88m，深さ0.36～0.57m

カマド方向 N36°W，北西カマド，長い煙道（1.28m） カマド 両袖残存

床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面，周溝，床構築土あり 柱穴 ピット1口

出土遺物（第41・46図，第1・3表） 土師器坏〔非ロクロ〕・甕・球胴甕，土製品（紡錘車1点）

時期 8世紀末～9世紀初頭

RA003（第8図）

位置 2次調査区北西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西－南東4.46m，北東－南西4.55m，深さ0.14m

カマド方向 N20°W，北西カマド，長い煙道（トンネル状，1.0m） カマド 右袖残存

床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面，周溝，床構築土あり 南東部に粘土塊 柱穴 ピット1口

出土遺物 (第40・46図, 第1・3表) 土師器坏〔非ロクロ〕・甕・球胴甕, 土製品 (紡錘車1点)

時期 8世紀末～9世紀初頭

RA004 (第9図)

位置 2次調査区西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東4.83m, 北東-南西5.20m, 深さ0.32～0.45m

カマド方向 N42°W, 北西カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.04m) カマド 両袖残存

床の状態 カマド部分に焼き口の焼け面, 床構築土あり 柱穴 ピット3口

出土遺物 (第41図, 第1表) 土師器坏〔非ロクロ〕・甕・鉢・甗, 土製品 (ミニチュア土器2点), 軽石

時期 8世紀末～9世紀初頭

RA005 (第10図)

位置 2次調査区南西部・3次調査区北西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東5.05m, 北東-南西5.55m, 深さ0.2～0.25m

カマド方向 N28°W, 北西カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.10m) カマド 両袖残存 (芯材に土器使用)

埋土 床面付近に多量の炭化材 貯蔵穴 カマド右袖脇に1基 (pit5)

床の状態 カマド部分に焼き口の焼け面, 周溝, 床構築土あり 東部・西部に地焼炉の焼け面

柱穴 主柱穴4口

	pit1	pit2	pit3	pit4
直径	0.3m	0.3～0.35m	0.25～0.3m	0.42m
深さ	0.5m	0.45m	(0.25m)	0.48m
平面形	不整円形	不整楕円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり

出土遺物 (第41図, 第1表) 土師器坏〔非ロクロ〕・甕・球胴甕, 刻書土器「キ」, 石製品 (砥石1点)

時期 8世紀末～9世紀初頭

RA006 (第11図)

位置 2次調査区中央部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東5.67m, 北東-南西5.91m, 深さ0.12～0.3m

カマド方向 N22°W, 北西カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.25m) カマド 左袖残存

埋土 床面付近に炭化材 床の状態 カマド部分に焼き口の焼け面, 周溝, 床構築土あり

柱穴 主柱穴3口

	pit1	pit2	pit3
直径	0.2～0.22m	0.2m	0.3m
深さ	0.45m	0.32m	0.4m
平面形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	—	—	柱痕跡あり

出土遺物 土師器坏〔非ロクロ〕・甕

時期 8世紀末～9世紀初頭

RA007 (第12図)

位置 2次調査区西部 **重複関係** RD008 (住居埋土途中から掘り込み) **平面形** 隅丸方形

規模 南北4.01m, 東西4.17m, 深さ0.17～0.31m

カマド方向 N3°W, 北カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.25m) **カマド** 両袖残存

床の状態 カマド部分に焼き口の焼け面, 床構築土あり **柱穴** ピット2口

出土遺物 (第42図, 第1表) 土師器坏〔非ロクロ〕・甕・球胴甕

時期 8世紀末～9世紀初頭

RA008 (第13図)

位置 2次調査区中央部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形

規模 南北4.39m, 東西5.07m, 深さ0.16～0.29m

カマド方向 N12°W, 北カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.46m) **カマド** 両袖残存

埋土 床面付近に炭化材 **床の状態** カマド部分に焼き口の焼け面, 周溝, 床構築土あり

貯蔵穴 南西部に1基 (pit5) **柱穴** ピット4口

出土遺物 (第42・46図, 第1・3表) 土師器坏〔非ロクロ〕・高台付坏〔非ロクロ〕・甕・球胴甕・鉢, 土製品 (紡錘車4点, 勾玉4点, 丸玉4点), 軽石, 鉄製品 (鉄鏃1点)

時期 8世紀末～9世紀初頭

RA009 (第14図)

位置 2次調査区中央部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形

規模 南北4.66m, 東西4.75m, 深さ0.15～0.26m

カマド方向 N18°W, 北カマド, 長い煙道 (1.28m) **カマド** 両袖残存 **埋土** 床面付近に炭化材

床の状態 カマド部分に焼き口の焼け面, 床構築土あり **柱穴** ピット7口

出土遺物 (第42・46図, 第1・3表) 土師器坏〔非ロクロ〕・高台付坏〔非ロクロ〕・甕・球胴甕, 土製品 (紡錘車1点), 軽石

時期 8世紀末～9世紀初頭

RA010 (第15図)

位置 2次調査区中央部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形

規模 南北4.16m, 東西4.41m, 深さ0.27～0.35m

カマド方向 N12°W, 北カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.17m) **カマド** 両袖残存

床の状態 カマド部分に焼き口の焼け面, 周溝, 床構築土あり **柱穴** ピット5口

出土遺物 (第42・46図, 第1・3表) 土師器坏〔非ロクロ〕・甕・球胴甕, 土製品 (紡錘車3点)

時期 8世紀末～9世紀初頭

RAO11 (第16図)

位置 2次調査区東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形 (床面のみ残存)
規模 北西-南東4.26m, 北東-南西3.54m
カマド方向 N32°W, 北西カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.12m)
床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面 **貯蔵穴** 東部に1基 (pit1)
出土遺物 土師器甕・球胴甕
時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO12 (第17図)

位置 2次調査区東部 **重複関係** RD003 (新) **平面形** 隅丸方形
規模 北西-南東5.83m, 北東-南西6.56m, 深さ0.24m
カマド方向 N27°W, 北西カマド, 長い煙道 (1.45m) **カマド** 両袖残存
埋土 床面付近に炭化材 **貯蔵穴** カマド右袖脇に1基 (pit12)
床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面, 周溝, 床構築土あり
柱穴 主柱穴4口, その他ピット7口

	pit1	pit2	pit3	pit4
直径	0.22m	0.22~0.3m	0.3~0.35m	0.25m
深さ	0.42m	0.4m	0.4m	0.42m
平面形	不整円形	不整楕円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	—	—	柱痕跡あり

出土遺物 (第42・46図, 第1・3表) 土師器坏 [非ロクロ]・高台付坏 [非ロクロ]・甕・球胴甕・瓶, あかやき土器坏 [ロクロ] 破片1点 (A層), 土製品 (ミニチュア土器1点)
時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO13 (第18図)

位置 2次調査区東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形
規模 北西-南東2.91m, 北東-南西3.07m, 深さ0.22~0.36m **カマド方向** S23°E, 南東カマド, 長い煙道 (1.19m) **カマド** 両袖残存 **床の状態** カマド部分に焚き口の焼け面
貯蔵穴 カマド右袖脇に1基 (pit1) **出土遺物** 土師器坏 [非ロクロ]・甕
時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO14 (第19図)

位置 2次調査区東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形
規模 北西-南東3.48m, 北東-南西3.50m, 深さ0.24~0.4m
カマド方向 N30°W, 北西カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.16m) **カマド** 両袖残存
床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面, 周溝, 床構築土あり **貯蔵穴** カマド右袖脇に1基 (pit1)
柱穴 ピット2口 **出土遺物** 土師器坏 [非ロクロ]・甕
時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO15 (第20図)

位置 2次調査区東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形

規模 南北5.34m, 東西5.99m, 深さ0.38~0.52m

カマド方向 N21°W, 北カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.49m) **カマド** 両袖残存 (芯材に土器使用)

埋土 床面付近に炭化材・焼土・粘土塊 **床の状態** カマド部分に焼き口の焼け面, 周溝, 床構築土あり

柱穴 主柱穴4口, その他ピット1口

	pit1	pit2	pit3	pit4
直径	0.24~0.3m	0.25~0.3m	0.24~0.3m	0.34~0.38m
深さ	0.42m	0.4m	0.45m	0.45m
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり

出土遺物 (第43・46図, 第2・3表) 土師器坏 [非ロクロ]・高台付坏 [非ロクロ]・甕・球胴甕, あかやき土器坏 [ロクロ] 破片1点 (A層), 土製品 (紡錘車1点), 石製品 (砥石1点), 軽石

時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO16 (第21図)

位置 2次調査区東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形

規模 南北4.02m, 東西4.26m, 深さ0.25~0.41m

カマド方向 N20°W, 北カマド, 長い煙道 (1.33m) **カマド** 両袖残存

床の状態 カマド部分に焼き口の焼け面, 床構築土あり **貯蔵穴** 北東部に1基 (pit1)

出土遺物 (第42図, 第1表) 土師器坏 [非ロクロ]・甕・球胴甕

時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO17 (第22図)

位置 2次調査区北東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形? (調査区外)

規模 北西-南東2.15m以上, 北東-南西2.4m以上, 深さ0.19~0.24m

埋土 床面付近に炭化材 **ピット** 1口

出土遺物 土師器坏 [非ロクロ]・甕

時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO18 (第23図)

位置 2次調査区北東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形

規模 北西-南東5.32m, 北東-南西5.96m, 深さ0.29~0.44m

カマド方向 N36°W, 北西カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.26m)

カマド 両袖残存 **貯蔵穴** カマド両袖脇に3基 (pit5・6・7)

床の状態 カマド部分に焼き口の焼け面, 周溝, 床構築土あり

柱穴 支柱穴4口, その他ピット1口

	pit1	pit2	pit3	pit4
直径	0.25m	0.35~0.4m	0.3~0.35m	0.35m
深さ	0.7m	0.5m	0.6m	0.5m
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり

出土遺物 (第43・46図, 第2・3表) 土師器坏〔非ロクロ〕・甕・球胴甕, 鉄製品 (釣針1点)

時期 8世紀末~9世紀初頭

RA019 (第24図)

位置 2次調査区南東部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東3.57m, 北東-南西3.54m, 深さ0.41~0.48m

カマド方向 N47°W, 北西カマド, 長い煙道 (トンネル状, 0.91m) カマド 両袖残存

床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面, 床構築土あり 柱穴 ピット6口

出土遺物 (第43図, 第2表) 土師器甕 時期 8世紀末~9世紀初頭

RA020 (第25図)

位置 3次調査区南東部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形? (調査区外)

規模 南北6.55m, 東西5.1m以上, 深さ0.25~0.3m カマド方向 N8°E, 北カマド, 長い煙道 (1.2m)

カマド 両袖残存 床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面, 周溝, 仕切溝, 床構築土あり

柱穴 支柱穴2口, その他ピット10口

	pit1	pit2
直径	0.3m	0.3m
深さ	0.42m	0.35m
平面形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	柱痕跡あり

出土遺物 (第44・46図, 第2・3表) 土師器坏〔非ロクロ〕・甕 (赤彩あり)・球胴甕・鉢, 須恵器坏破片1点 (A層), 土製品 (紡錘車1点・丸玉1点・ミニチュア土器5点), 石製品 (砥石1点), 鉄製品 (刀子1点)

時期 8世紀末~9世紀初頭

RA021 (第26図)

位置 3次調査区東部 重複関係 RD016 (住居埋土途中から掘り込み) 平面形 隅丸方形

規模 南北4.0m, 東西4.1m, 深さ0.25m カマド方向 N8°W, 北カマド, 長い煙道 (トンネル状, 0.91m)

カマド 両袖残存 埋土 北西部と北東部に砂礫による人為堆積あり

床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面, 周溝, 床構築土あり 貯蔵穴 南壁際に2基 (pit1・2)

出土遺物 (第43図, 第2表) 土師器坏〔非ロクロ〕・甕・球胴甕

時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO22 (第27図)

位置 3次調査区南西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形? (調査区外)
規模 南北3.0m以上, 東西4.95m, 深さ0.12~0.18m
カマド方向 N19°W, 北カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.75m) **カマド** 両袖残存
床の状態 カマド部分に焼き口の焼け面, 床構築土あり **ピット** 2口
出土遺物 土師器坏 [非ロクロ]・甕
時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO23 (第28図)

位置 3次調査区中央部 **重複関係** RD009 (新) **平面形** 隅丸方形
規模 北東-南西3.0m, 北西-南東2.95m, 深さ0.15m
カマド方向 N27°W, 北西カマド, 長い煙道 (1.35m) **カマド** 左袖一部残存 (人為的に破壊)
埋土 北東部に砂礫による人為堆積あり **貯蔵穴** 西側に1基 (pit1)
出土遺物 (第44図, 第2表) 土師器坏 [非ロクロ]・甕・球胴甕
時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO24 (第29図)

位置 3次調査区中央北部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形
規模 北西-南東6.8m, 北東-南西7.1m, 深さ0.1~0.25m
カマド方向 N36°W, 北西カマド, 長い煙道 (1.6m) **カマド** 左袖残存
貯蔵穴 南部に1基 (pit5) **床の状態** カマド部分に焼き口の焼け面, 床構築土あり
柱穴 主柱穴4口

	pit1	pit2	pit3	pit4
直径	0.45m	0.4~0.45m	0.35~0.45m	0.5m
深さ	0.35m	0.4m	0.45m	0.4m
平面形	不整円形	不整円形	不整楕円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり

出土遺物 土師器坏 [非ロクロ]・甕・球胴甕, 土製品 (ミニチュア土器1点)
時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO25 (第30図)

位置 3次調査区西部 **重複関係** RD011 (新) **平面形** 隅丸方形
規模 北西-南東3.1m, 北東-南西3.0m, 深さ0.1m
カマド方向 N43°W, 北西カマド, 長い煙道 (1.15m) **カマド** 両袖残存
床の状態 カマド部分に焼き口の焼け面, 床構築土あり
出土遺物 土師器坏 [非ロクロ]・甕
時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO26 (第31図)

位置 3次調査区北西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形
規模 北西-南東6.95m, 北東-南西6.4~7.3m, 深さ0.25m
カマド方向 N33.5°W, 北西カマド, 長い煙道(1.0m) カマド 両袖残存(芯材に土器使用)
床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面, 周溝, 仕切溝, 床構築土あり 中央部に硬化面あり
貯蔵穴 南西部に1基(pit7)
柱穴 主柱穴4口

	pit1	pit2	pit3	pit4
直径	0.35~0.5m	0.3m	0.45~0.6m	0.35m
深さ	0.55m	0.55m	0.52m	0.5m
平面形	不整楕円形	不整円形	不整楕円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり

出土遺物 (第45図, 第2表) 土師器坏〔非ロクロ〕・高台付坏〔非ロクロ〕・甕, 土製品(ミニチュア土器2点)

時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO27 (第32図)

位置 3次調査区西部 重複関係 RD012(新) 平面形 隅丸方形
規模 北西-南東3.2m, 北東-南西3.55m, 深さ0.1m
カマド方向 N26.5°W, 北西カマド, 長い煙道?(先端攪乱で破壊, 0.5m以上) 床の状態 床構築土あり
出土遺物 土師器坏〔非ロクロ〕・甕・球胴甕
時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO28 (第33図)

位置 3次調査区南西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形
規模 北西-南東3.85m, 北東-南西4.3m, 深さ0.1~0.15m
カマド方向 N29°W, 北西カマド, 長い煙道(1.35m) カマド 両袖残存(芯材に礫使用)
床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面, 床構築土あり
出土遺物 土師器坏〔非ロクロ〕・甕
時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO29 (第34図)

位置 3次調査区南部・5次調査区北部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形
規模 北西-南東4.35m, 北東-南西4.84m, 深さ0.2~0.25m
カマド方向 N37°W, 北西カマド, 長い煙道(トンネル状, 1.10m) カマド 両袖残存
床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面, 周溝, 床構築土あり
出土遺物 (第45図, 第2表) 土師器坏〔非ロクロ〕・甕
時期 8世紀末~9世紀初頭

RA030 (第35図)

位置 3次調査区南部・5次調査区北部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形
規模 北西-南東6.40m, 北東-南西6.00m, 深さ0.3m
カマド方向 N28.5°W, 北西カマド, 長い煙道(1.60m) **カマド** 両袖残存(芯材に土器使用)
埋土 床面北西部に炭化材
床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面, 周溝, 仕切溝, 床構築土あり 中央部に硬化面あり
柱穴 主柱穴3口

	pit1	pit2	pit3
直径	0.35~0.4m	0.3~0.45m	0.25m
深さ	0.45m	0.35m	0.25m
平面形	不整楕円形	不整楕円形	不整円形
特徴	—	柱痕跡あり	柱痕跡あり

出土遺物 (第44図, 第2表) 土師器坏〔非ロクロ〕・大型坏・高台付坏・甕, 土製品(ミニチュア土器2点, 紡錘車1点)

時期 8世紀末~9世紀初頭

RA031 (第36図)

位置 5次調査区西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形?(調査区外)
規模 南北7.30m, 東西3.50m以上(調査区外), 深さ0.35m **カマド方向** 北カマド?(調査区外)
貯蔵穴 北壁際に1基(pit7) **床の状態** 床構築土あり
出土遺物 (第45図, 第2表) 土師器坏〔非ロクロ〕・甕
時期 8世紀末~9世紀初頭

RA032 (第37図)

位置 5次調査区南東部 **重複関係** 柱穴(新) **平面形** 不整隅丸方形
規模 東西3.10~3.20m, 南北3.20m, 深さ0.1m
カマド方向 E20.5°N(推定), 東カマド, 煙道なし(削平, または短い煙道) **埋土** 床面に炭化材
貯蔵穴 カマド右袖脇に1基(pit1) **床の状態** 床構築土あり
出土遺物 (第45・46図, 第2・3表) 土師器坏〔非ロクロ〕・甕・球胴甕, 須恵器甕破片, 土製品(紡錘車1点) **時期** 8世紀末~9世紀初頭

RA033 (第38図)

位置 5次調査区南東部 **重複関係** 柱穴(新) **平面形** 隅丸方形
規模 南北2.35m, 東西2.40m, 深さ0.15~0.20m
カマド方向 N14°W, 北カマド, 長い煙道(トンネル状, 1.60m)
カマド 両袖残存 **床の状態** カマド部分に焚き口の焼け面, 床構築土あり
出土遺物 (第45図, 第2表) 土師器坏〔非ロクロ〕・甕, 石製品(砥石1点)
時期 8世紀末~9世紀初頭

RAO34 (第39図)

位置 5次調査区中央部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形 (床面のみ残存)

規模 北西-南東3.10~3.30m, 北東-南西2.5~3.1m

カマド方向 N36°W, 北西カマド, 長い煙道 (1.00m)

床の状態 カマド部分に焚き口の焼け面, 床構築土あり

出土遺物 土師器坏 [非ロクロ]・甕

時期 8世紀末~9世紀初頭

第3章 調査成果のまとめ

盛岡市教育委員会が実施した、平成16・18・21年度の高櫓A遺跡第2次・3次・5次発掘調査により、第2章に記述した内容の成果を得ることができた。以下、主な遺構と遺物について、まとめを記述する。

1. 竪穴住居跡

3次にわたる本調査で精査した竪穴住居跡は計34棟である。これらは、後述するようにその出土土器の様相から、すべて8世紀末～9世紀初頭（奈良時代末～平安時代初頭）のものと考えられる。以下では、竪穴住居跡の規模やカマド方向の様相などに注目して、若干の検討を行う。

竪穴住居跡は、相互に重複することなくつくられ、その煙道がのびるカマド方向は、北カマド（N22.5°E～22.5°W, 13棟）と北西カマド（N22.5°W～67.5°W, 16棟）が大部分である。また、南西カマド、南東カマドが各1棟あるほか、在地に特徴的な長い煙道を持たない東カマドの竪穴住居跡が1棟ある。北～西カマドは、盛岡周辺の8世紀代の古代集落の特徴と共通している。

平面形はすべて隅丸方形であり、その辺長（カマド方向側）と床面積及び上屋を支える支柱穴の有無を検討すると（第4表）、概ね一辺5m以上・床面積25㎡以上のものが、ほとんどに支柱穴があり、この集落での大型住居と分類できそうである。住居の壁をつくるため板や杭を建てた痕跡である周溝は、大型住居のほとんどにみられる。また、床をつくるための根太材の痕跡と考えられる仕切状溝は、一辺約6m以上・床面積36㎡以上のものに限られる。これら大型住居は、血縁集団の家父長クラスの住まいと考えられる。カマド方向のまとまりと住居規模の相関を検討すると（第4表）、N8.0°E～12.0°W北カマド(A)、N18.0°W～22.0°北カマド(B)、N26.5°W～36.0°W北西カマド(C)、N42.0°W～47.0°W北西カマド(D)、の4大グループに分類でき、南西カマド(E)と南東カマド(F)のものは小型であることから、それらのいずれかに付属していたと考えられる。これらの各グループには大型住居が含まれており、大型住居が中・小型住居とセットとなっていたことが想定できるが、平面分布的なまとまりは示さない。後述するように、土器群に時期差を見い出せないことから、これらは8世紀末～9世紀初頭の一時期の血縁集団差を示すもの、と考えられる。また、一辺約4m以下・床面積約16㎡以下の小型住居に限られるが、住居埋没後または埋没途中に住居のほぼ中心に不整形の皿状土坑を掘り込む例が5棟ある。特徴的な遺物等が出土していないので、その意図や用途は不明であるが、何らかの作業場または祭祀跡であろうか。

2. 出土土器

ここでは、竪穴住居跡より出土した土器群について検討を行う。出土した土器は、土師器坏〔非ロクロ〕・高台付坏〔非ロクロ〕・甕・球胴甕・小型甕・鉢・甗であるが、このうち坏〔非ロクロ〕・甕・球胴甕が基本セットとなっており、8世紀代の特徴を示している。時間変化を敏感に示す坏の器形を見ると、有段で丸底のもの(a1類)、有段で平底風丸底のもの(a2類)、有段で平底のもの(a3類)、有段風沈線で丸底のもの(b1類)、段・沈線なく丸底もの(c1類)、段・沈線なく平底風丸底のもの(c2類)がある。先のカマド方

向から抽出したグループごとに坏の組成をみると、各グループ間に大きな違いは見い出せない。型式学的には坏 a 類→b 類→c 類の時間変化が想定されようが、丸底、平底風丸底、平底のものが共存しており、一時期内のバリエーションと捉えた方が無理がないと考えられる。このような坏のあり方だけをみれば、従来の編年観からすると 8 世紀末（第 4 四半期）に位置づけられるのかもしれない。しかし近年、盛岡市南西部の大規模区画整理事業（盛岡南新都市開発整備事業、通称「盛南開発（愛称：ゆいとびあ盛南）」に伴う広範囲な古代集落の発掘調査成果から、いわゆる「官」である城柵「志波城跡」出土土器群の様相（ロクロ土師器坏・須恵器・あかやき土器の保有開始）のみを 9 世紀第 1 四半期と位置付ける編年観に疑問が示されている（今野 2009・福島 2009・西野 2008・津嶋 2004）。本遺跡では、住居埋土上層より数点ではあるが、ロクロを使用したあかやき土器坏・須恵器坏・甕破片が出土し、9 世紀代に主流となる南～東カマドの竪穴住居跡が小型ではあるが 2 棟存在する。これらを志波城設置に伴う「官」からの影響と積極的に評価するならば、本遺跡の土器群について 9 世紀初頭（第 1 四半期）までの時間幅を想定してもよいのではないだろうか。

3. 土製品

勾玉・丸玉 石製のものを模倣した装飾品と考えられる。勾玉は RA008 住居跡のみから 4 点、丸玉は RA008 住居跡から 5 点、RA020 住居跡から 1 点、RD017 土坑及び攪乱内から各 1 点の計 8 点出土している。

紡錘車 棒を通し糸を紡ぐ道具であり、計 17 点が出土している。RA008 住居跡からは 4 点、RA010 住居跡からは 3 点と、まとめて出土する住居がみられる。また RX002 円形周溝からも 1 点出土している。

ミニチュア土器 用途不明ではあるが、碗形の小型手づくね土器が合計 14 点出土している。RA020 住居跡から 5 点まとめて出土しているほか、1 または 2 点出土した住居跡が数棟みられる。

フイゴ羽口 製鉄や小鍛冶に使用するもので、RA026 住居跡の床面ピット中より破片 1 点が出土。

4. 鉄製品

鉄鏃 RA008 住居跡から 1 点出土している。形状は、先端の^{せんとう}箭頭部が幅広で大きく、城柵である志波城跡で多く出土する箭頭部が小さいタイプ（盛岡市教委 1982）とは異なっている。

釣針 RA018 住居跡から 1 点出土している。形状は「し」字形で、基部に釣糸を巻き付けたと考えられる痕跡が確認できる。

5. 刻書土器

RA005 住居跡出土の土師器坏底部（丸底）に、「キ」字状の刻書が見られ、焼成前に記号として記されたものと考えられる。

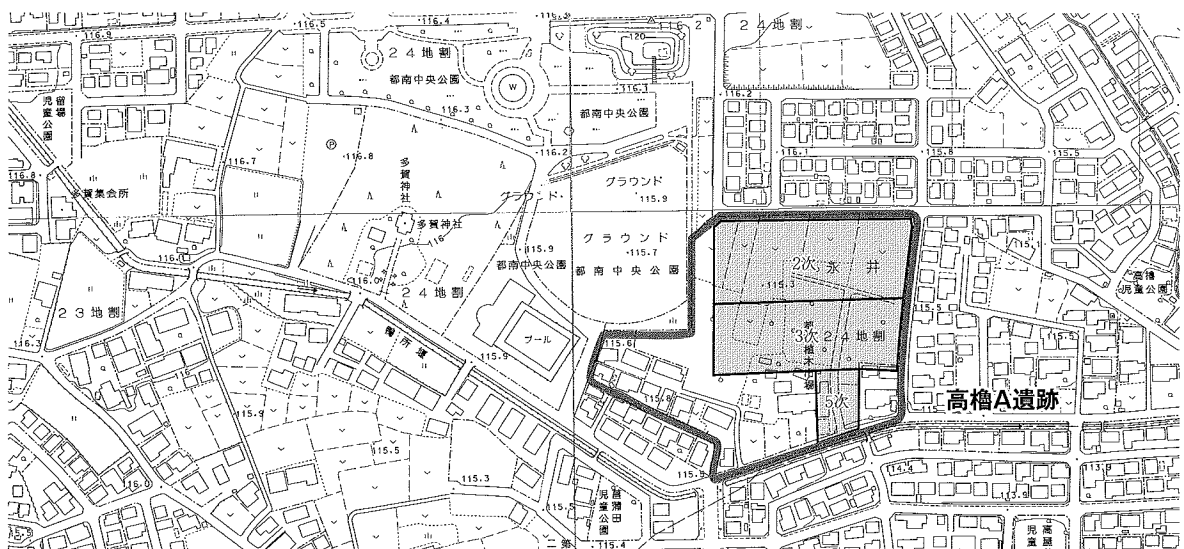
引用文献

- 今野公顕 2009 「9 世紀前半の志波城跡周辺の土器」『第 35 回古代城柵官衙遺跡検討会資料集』
- 津嶋知弘 2004 「志波城と蝦夷社会」『古代蝦夷と律令国家』高志書院
- 西野 修 2008 『志波城・徳丹城跡』日本の遺跡 31 同成社
- 福島正和 2009 「志波城周辺の集落様相」『第 35 回古代城柵官衙遺跡検討会資料集』
- 盛岡市教育委員会 1982 『志波城跡 - 昭和 56 年度発掘調査概報 - 』
- 盛岡市教育委員会 2009 『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅱ - 盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成 5～12 年度発掘調査② - 』

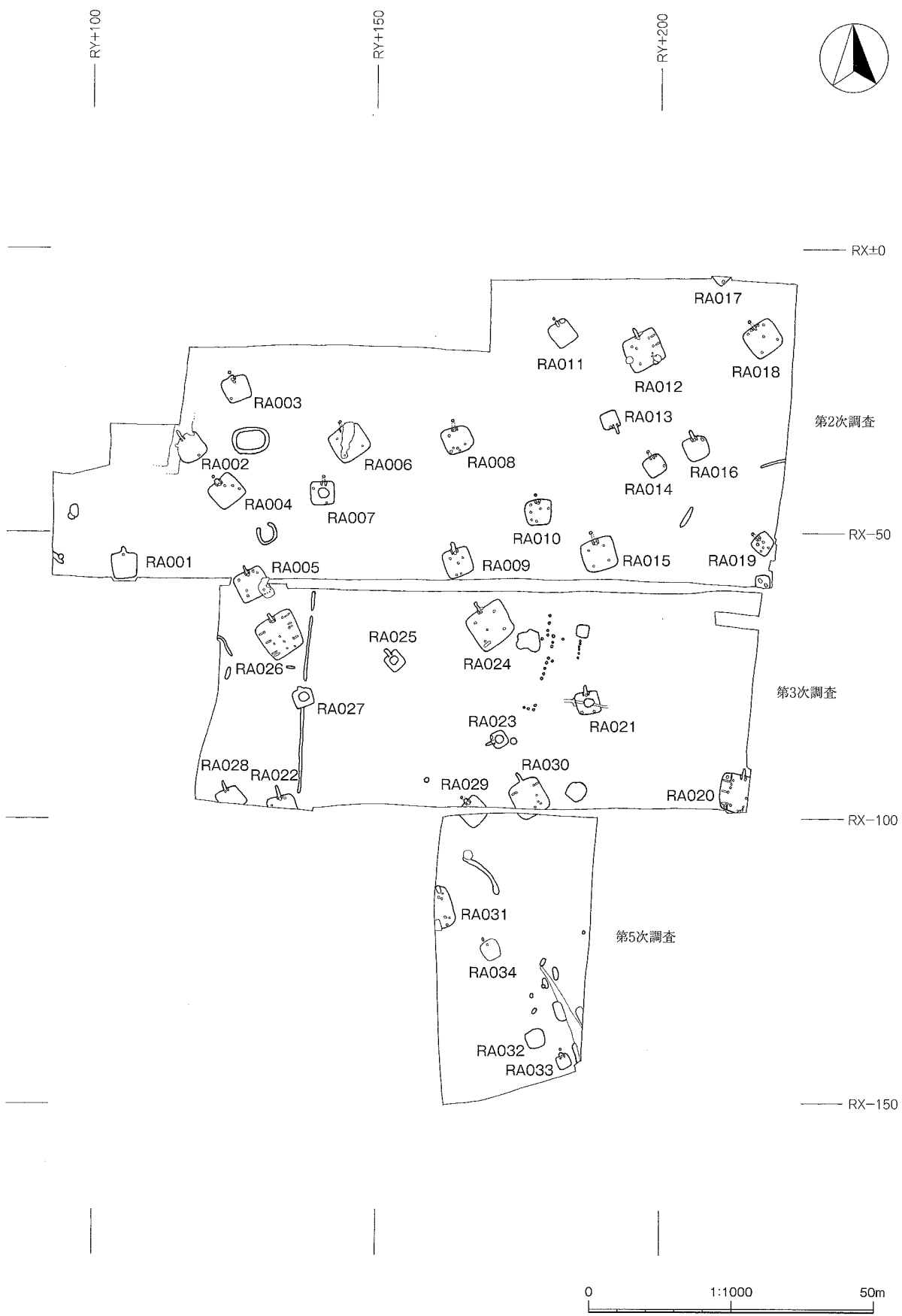
插图



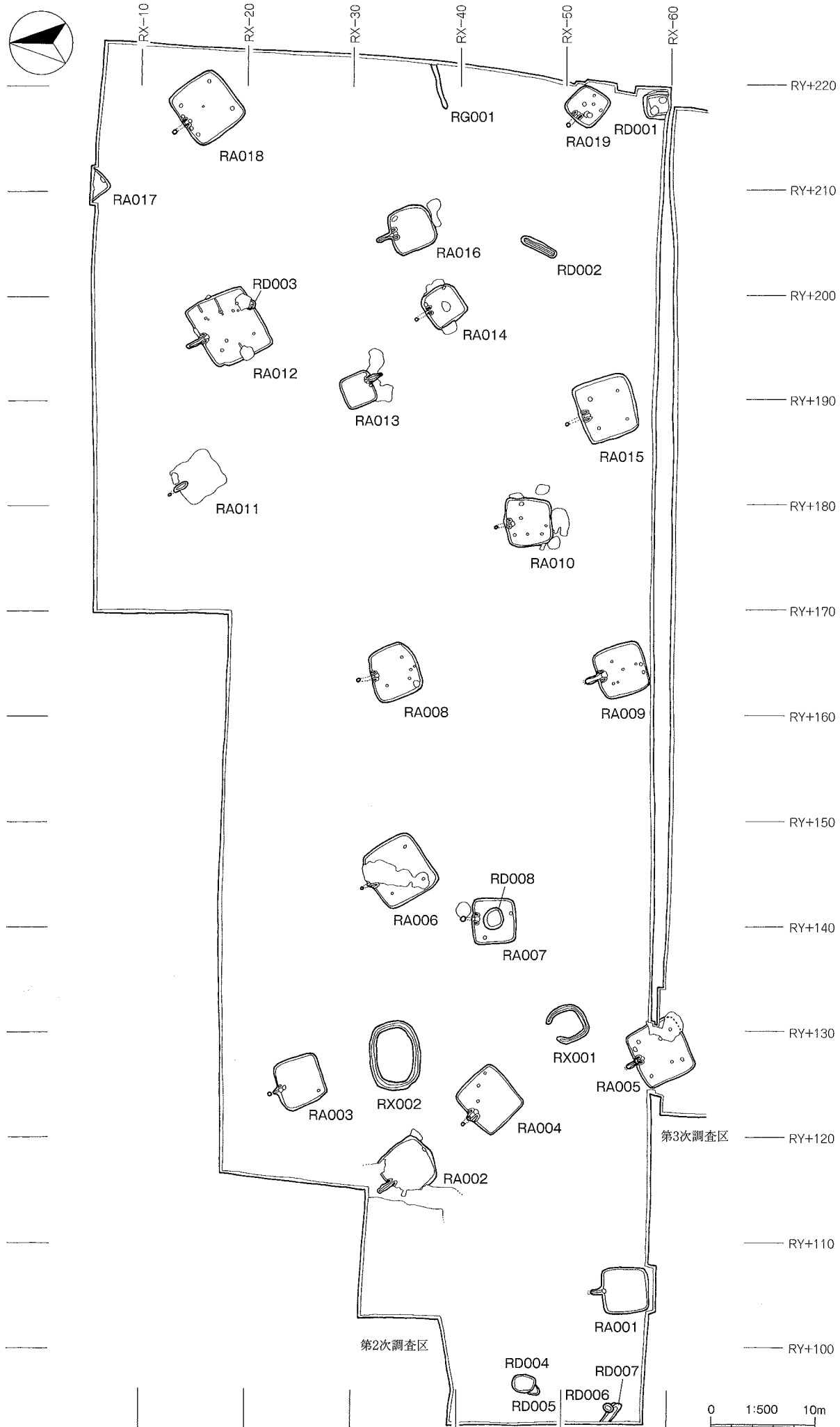
第1図 遺跡位置図 (S=1:50,000)



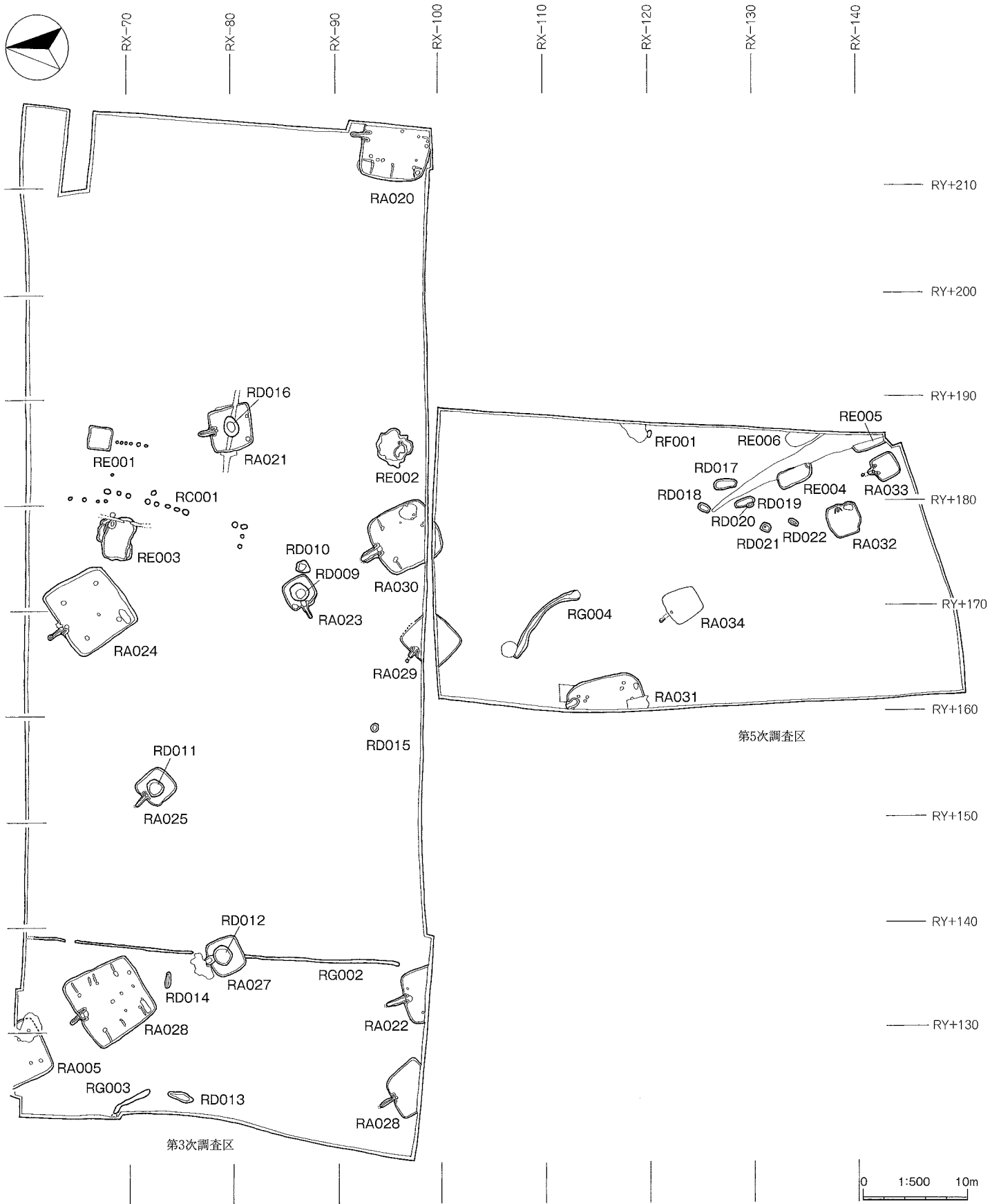
第2図 高檜A遺跡全体図 (S=1:2,000)



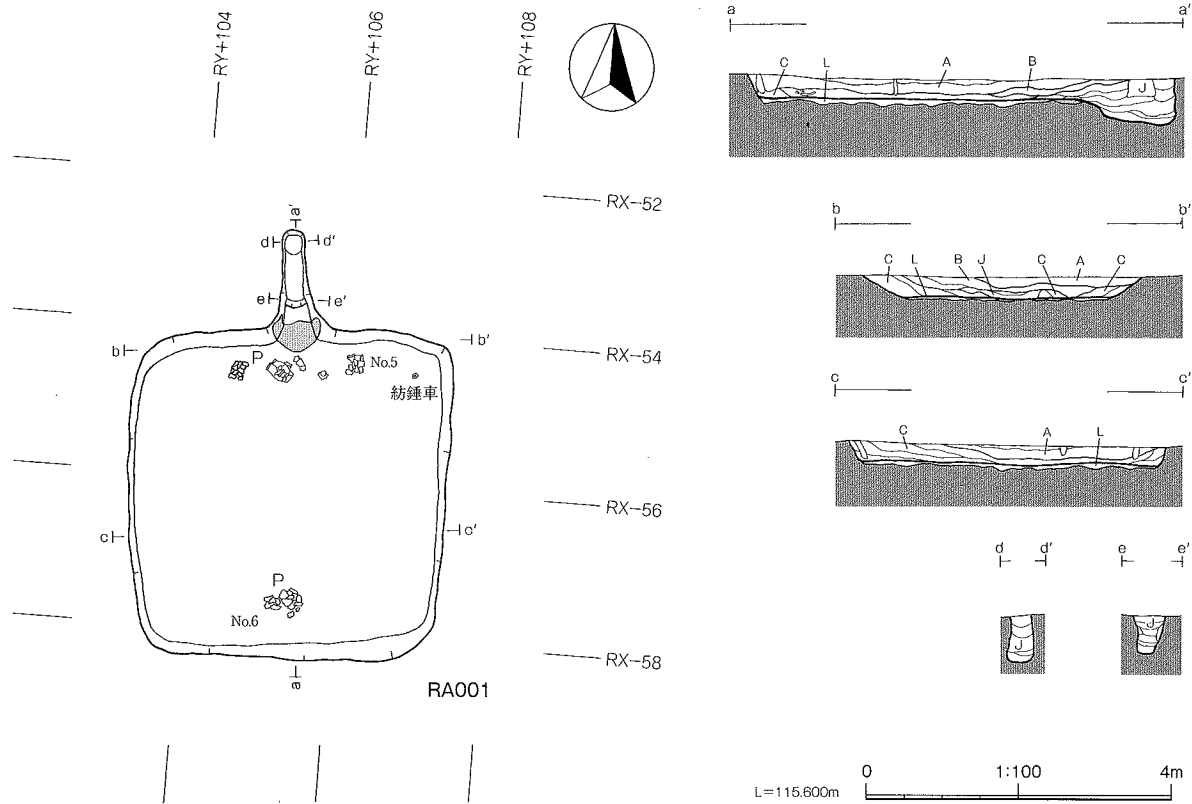
第3図 高橋A遺跡発掘調査全体図



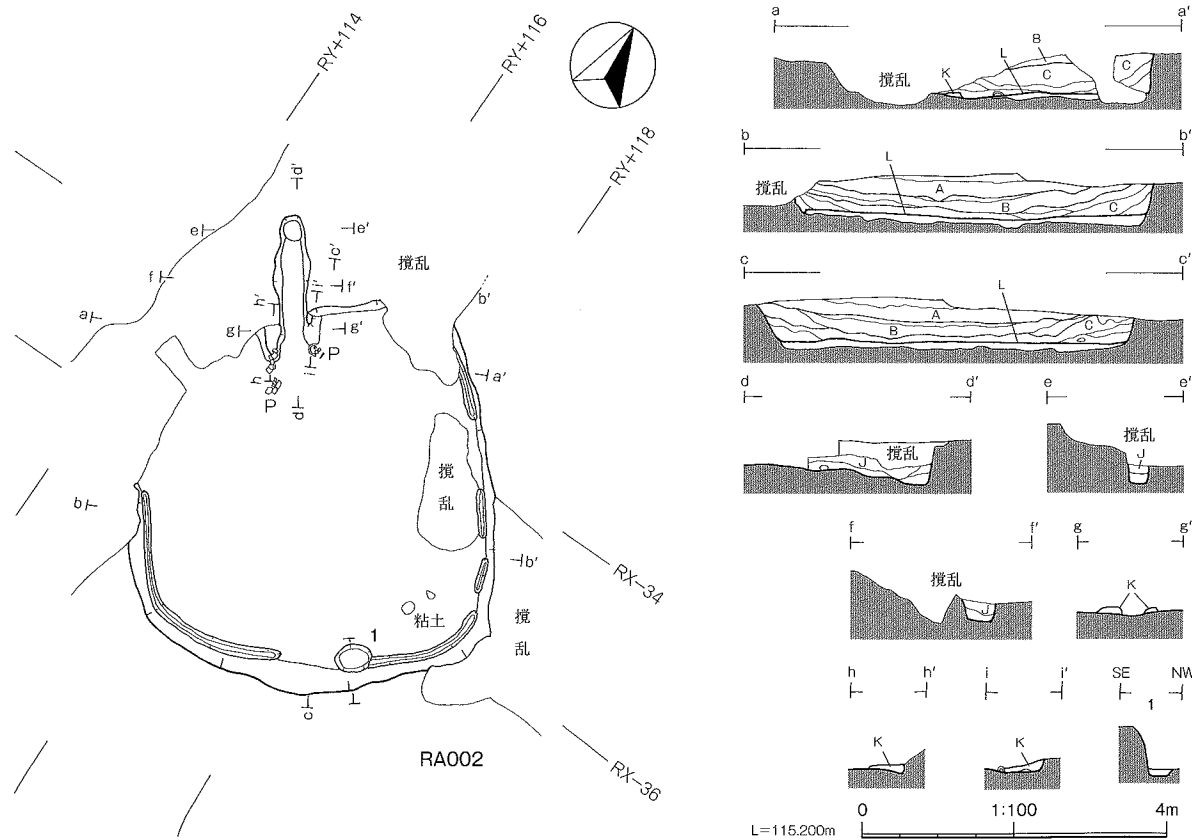
第4図 第2次調査区全体図



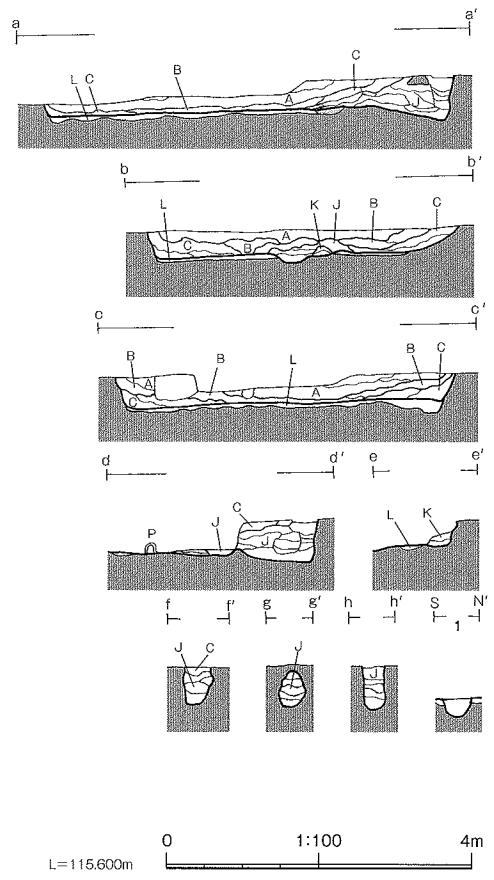
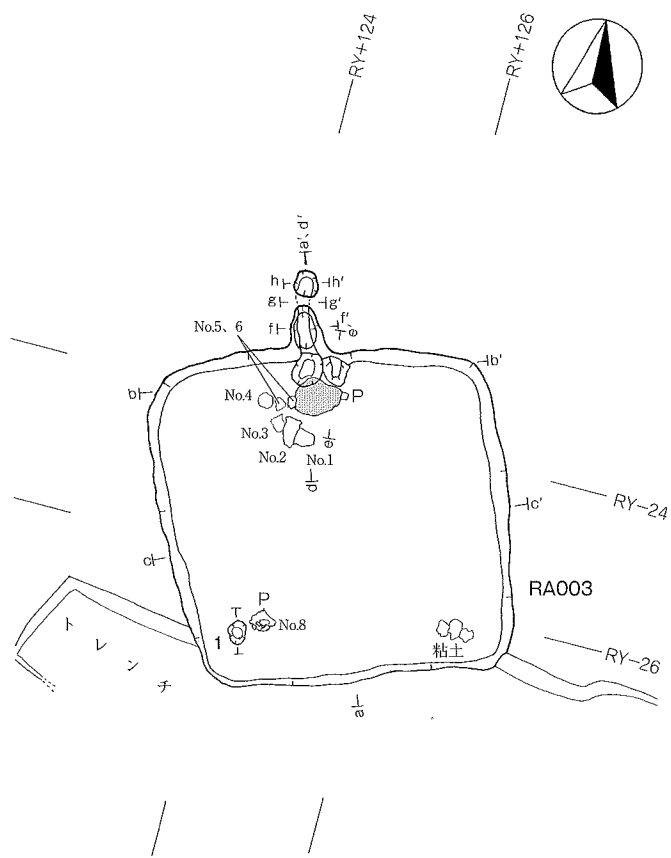
第5図 第3次・5次調査区全体図



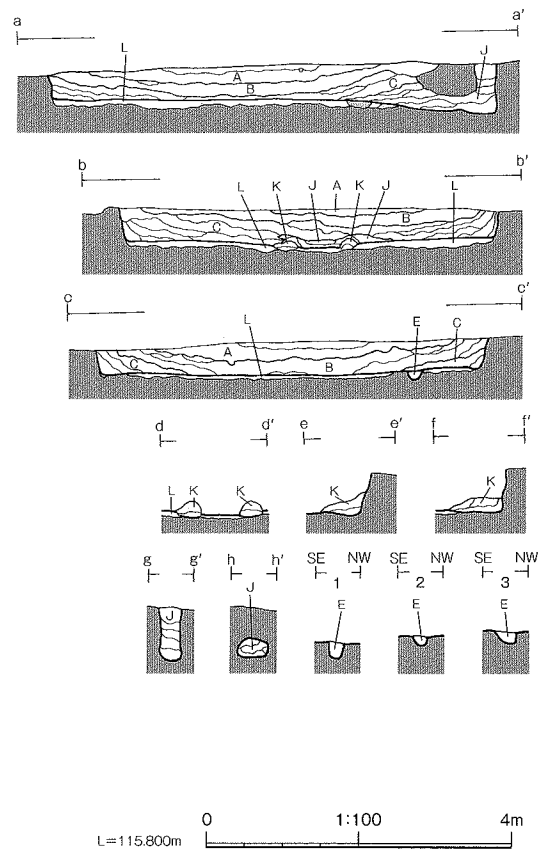
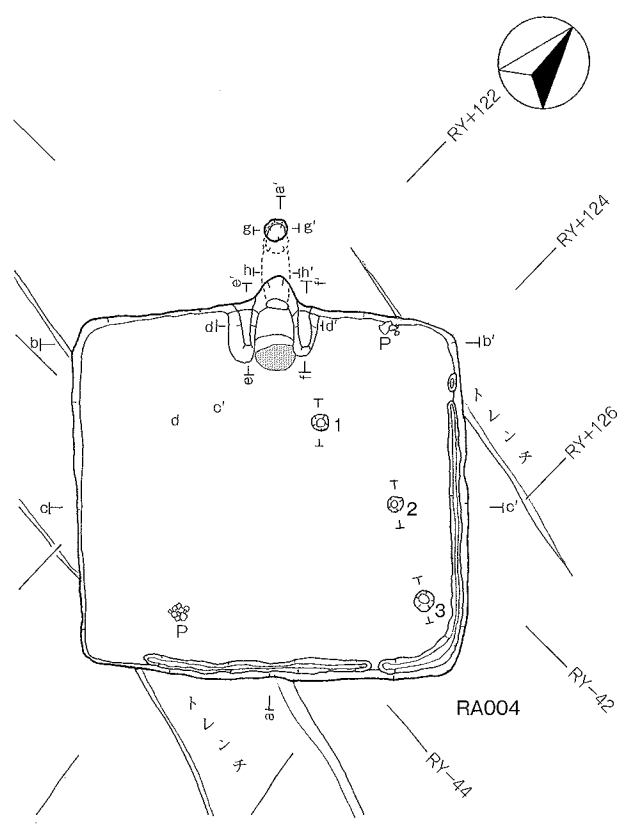
第6圖 RA001 豎穴住居跡



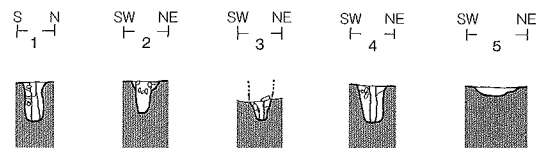
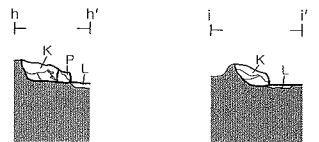
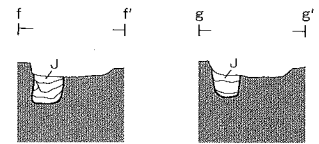
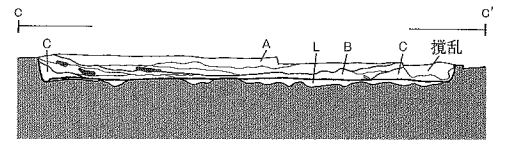
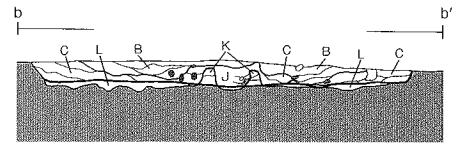
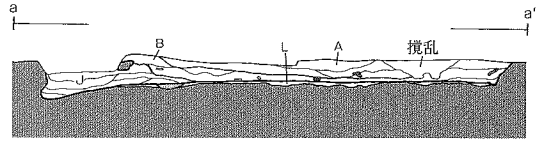
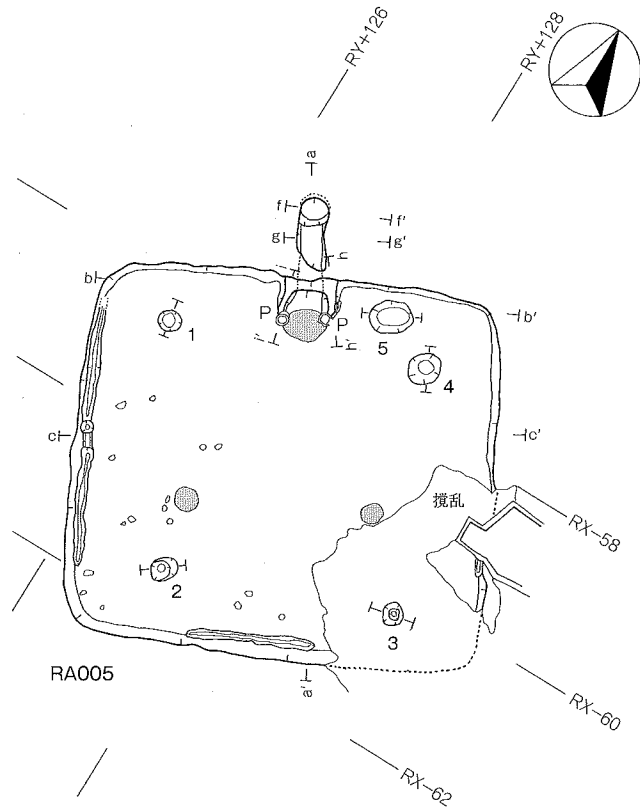
第7圖 RA002 豎穴住居跡



第8図 RA003 竪穴住居跡



第9図 RA004 竪穴住居跡

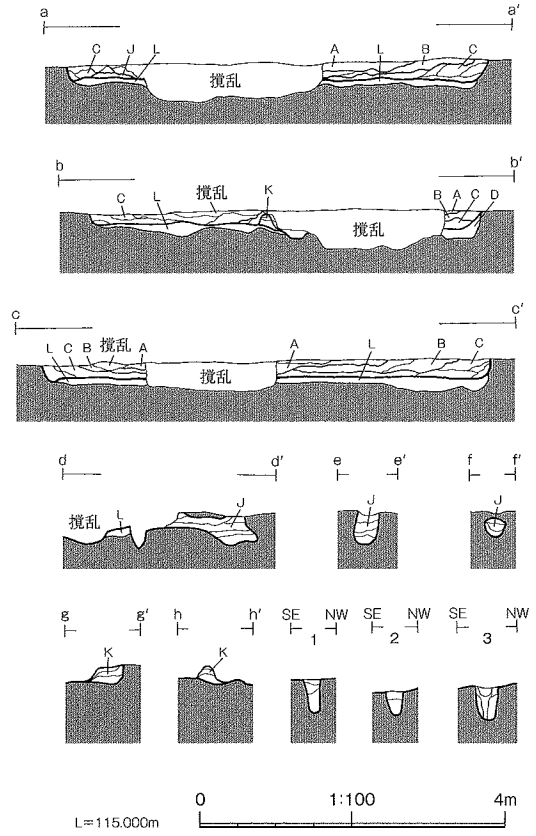
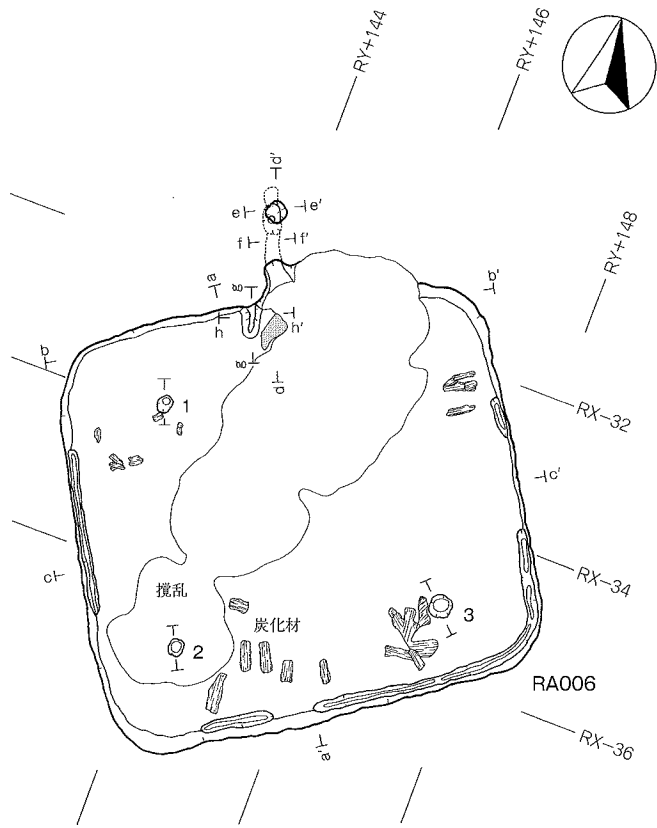


RA005

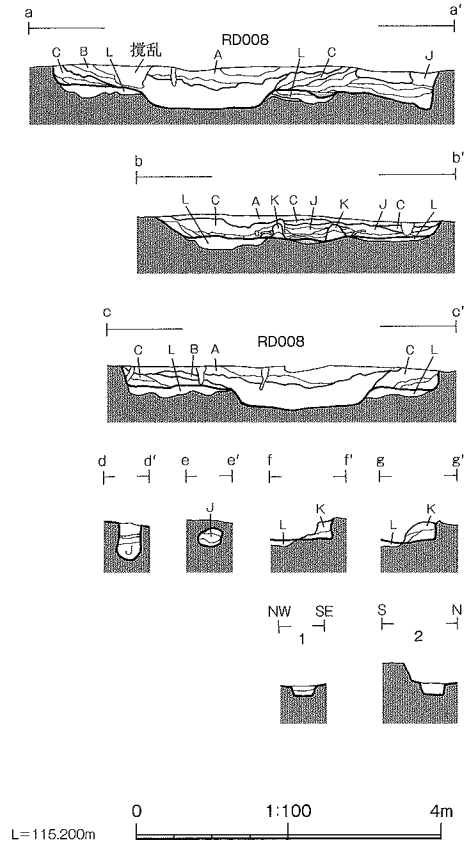
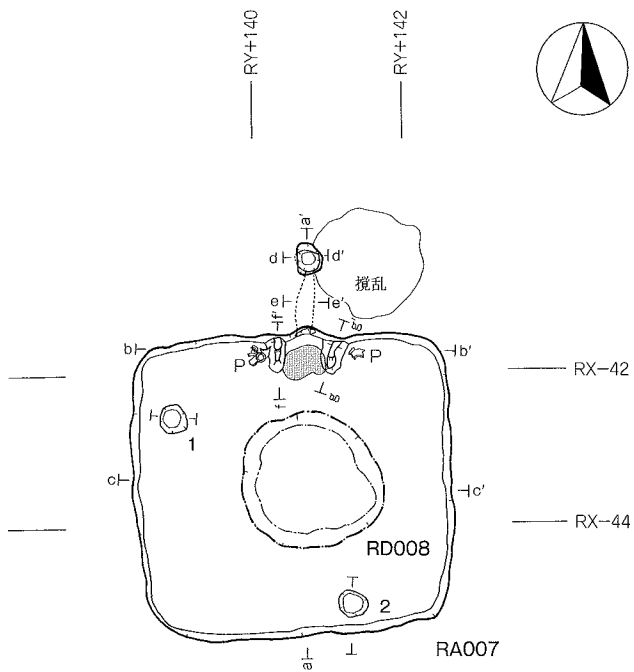
RA005炭化材出土状況

L=115.000m 0 1:100 4m

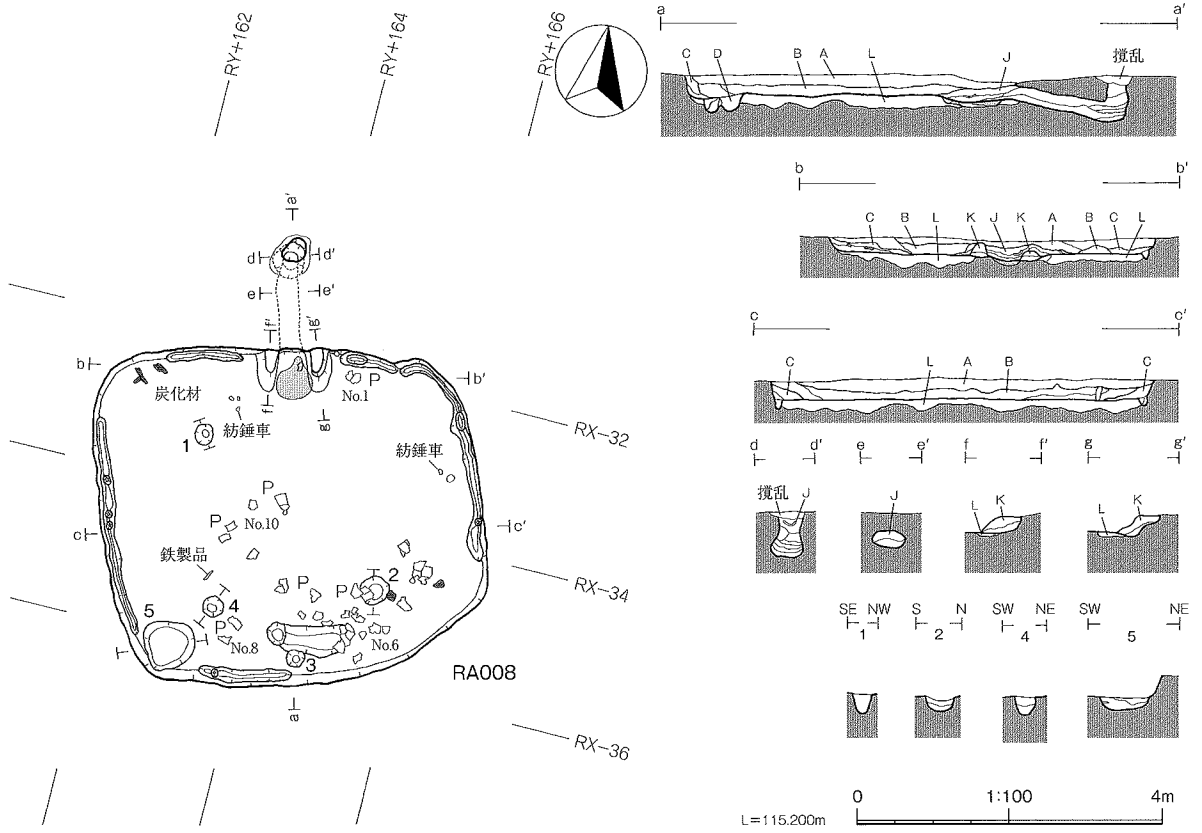
第10図 RA005 竪穴住居跡



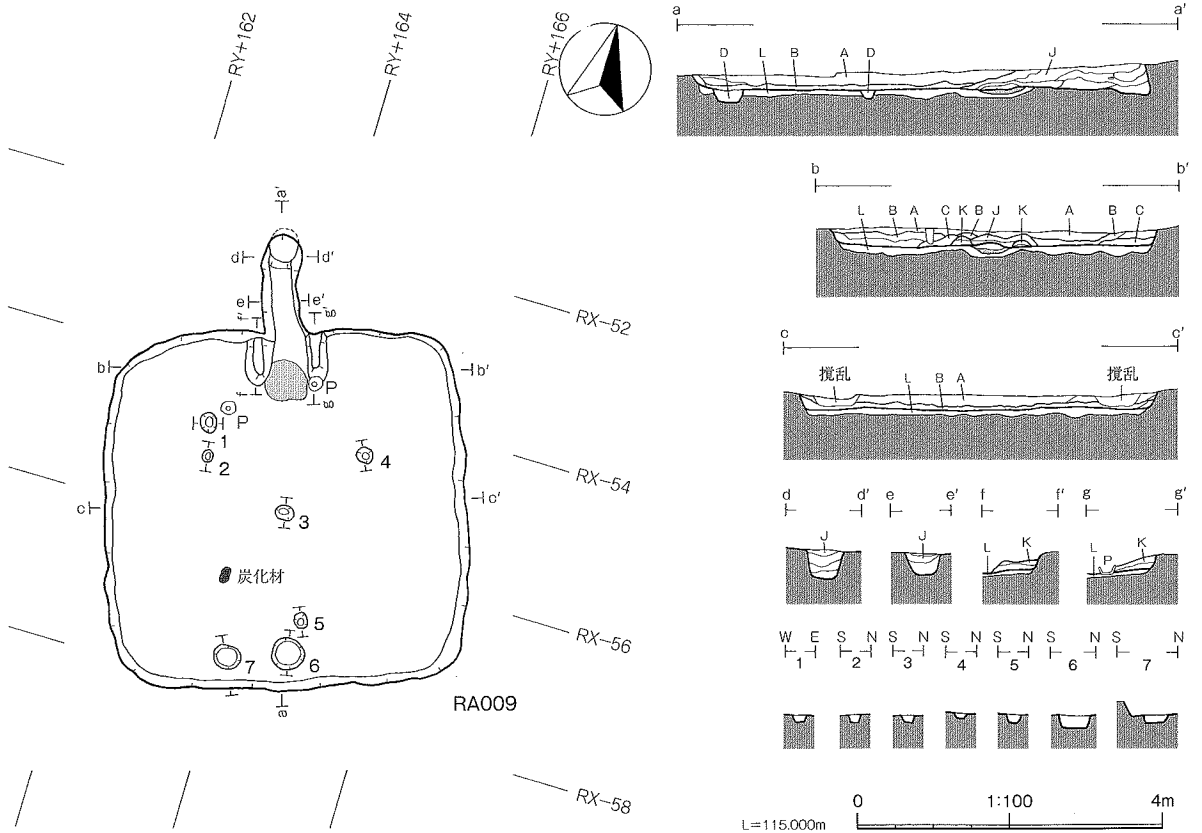
第11図 RA006 竪穴住居跡



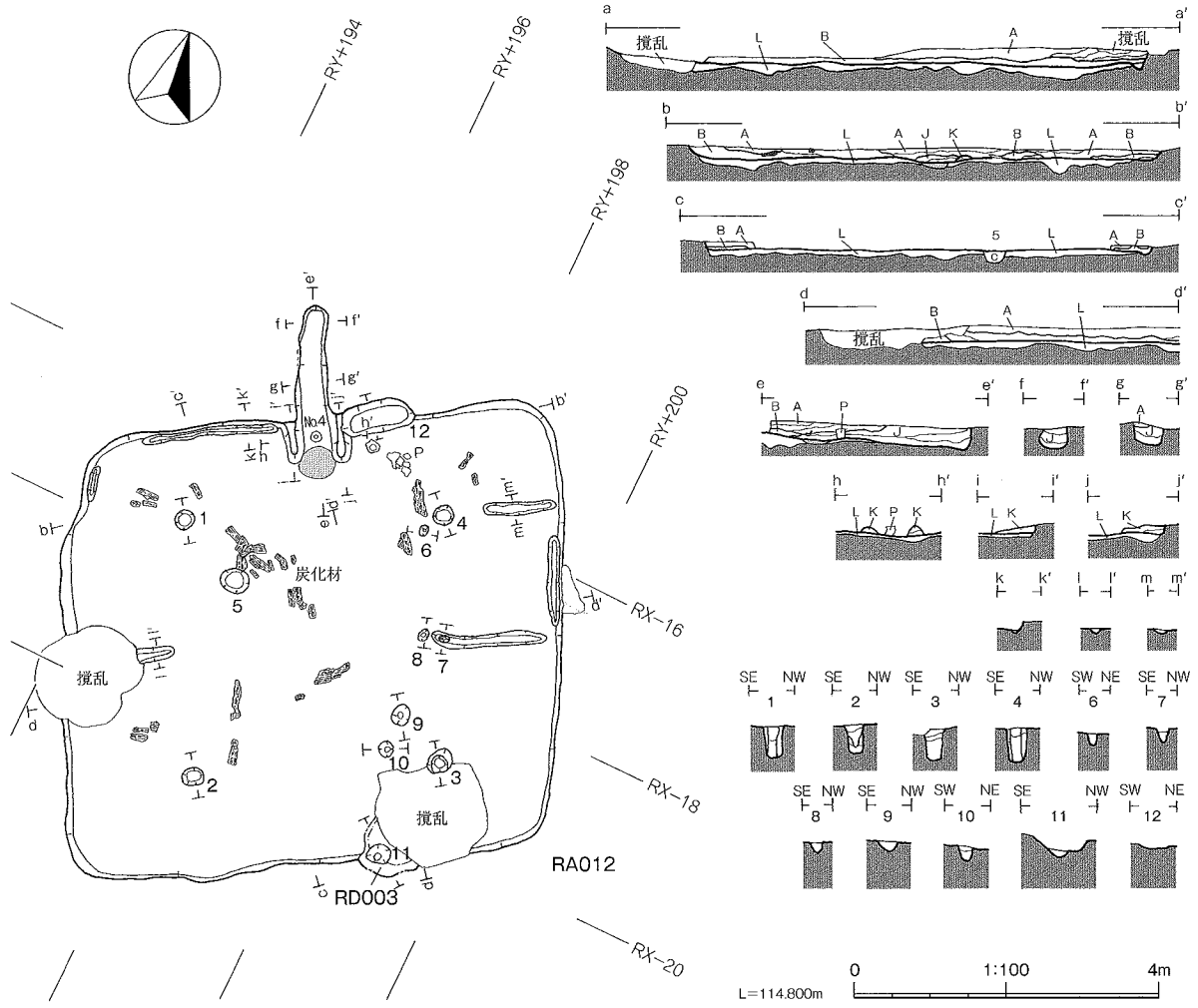
第12図 RA007 竪穴住居跡



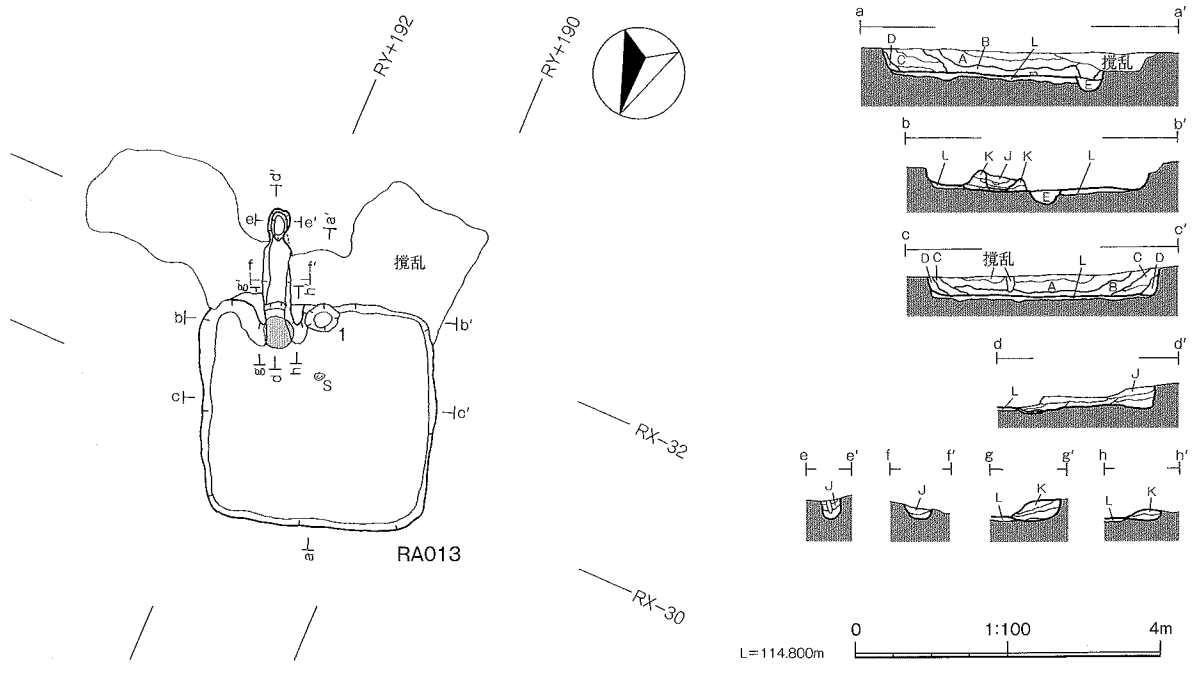
第13図 RA008 竪穴住居跡



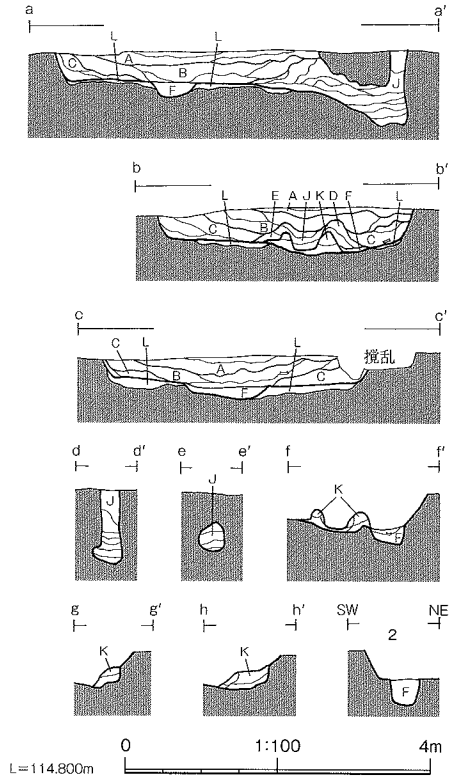
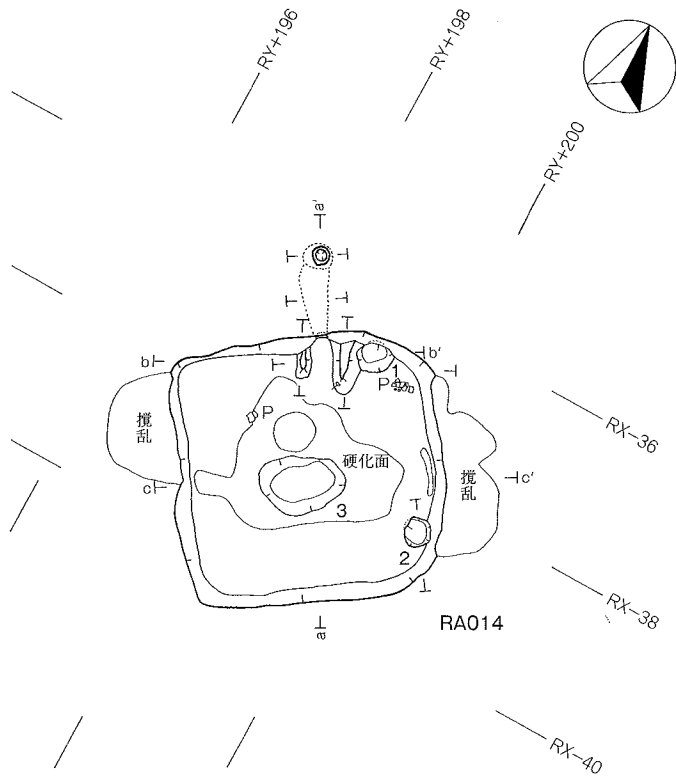
第14図 RA009 竪穴住居跡



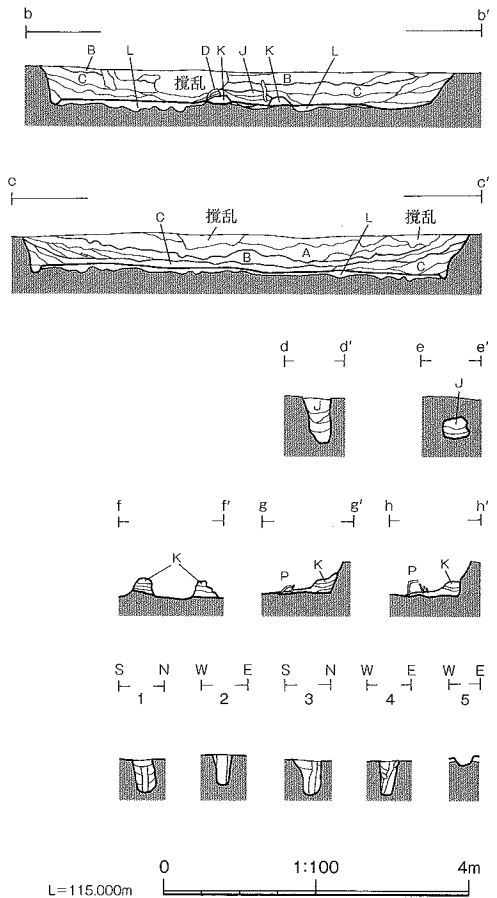
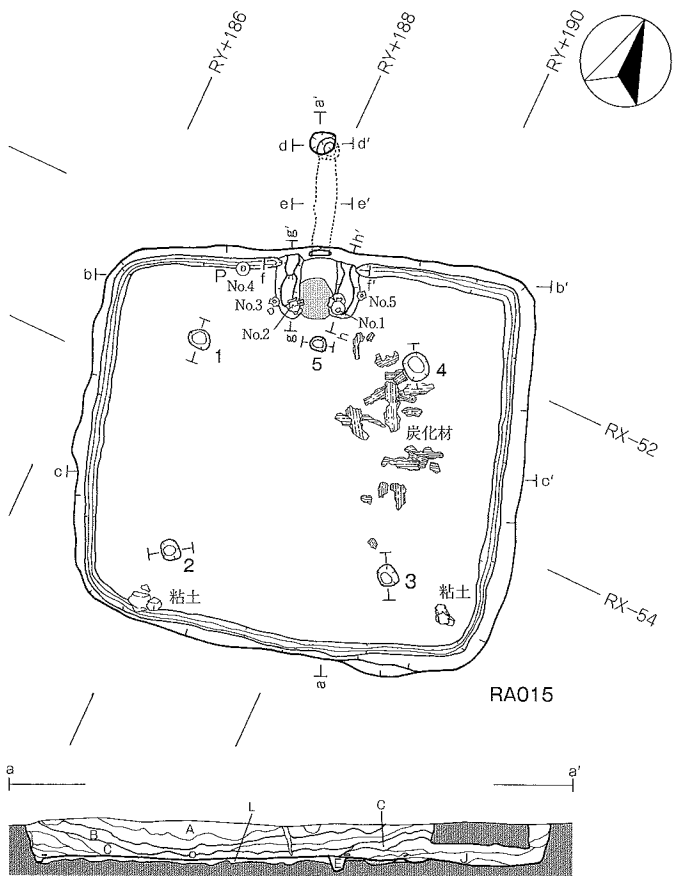
第17图 RA012 竖穴住居跡



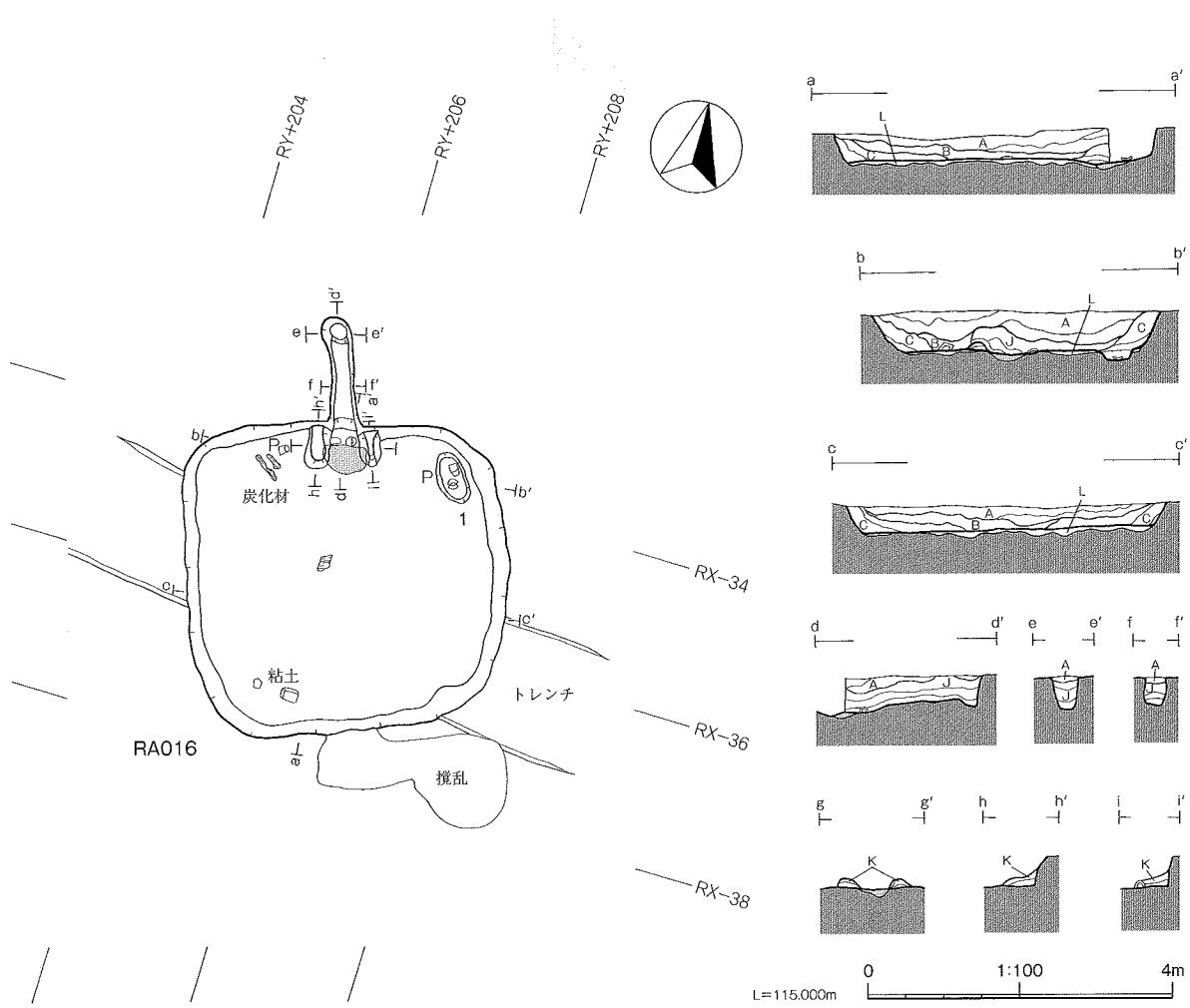
第18图 RA013 竖穴住居跡



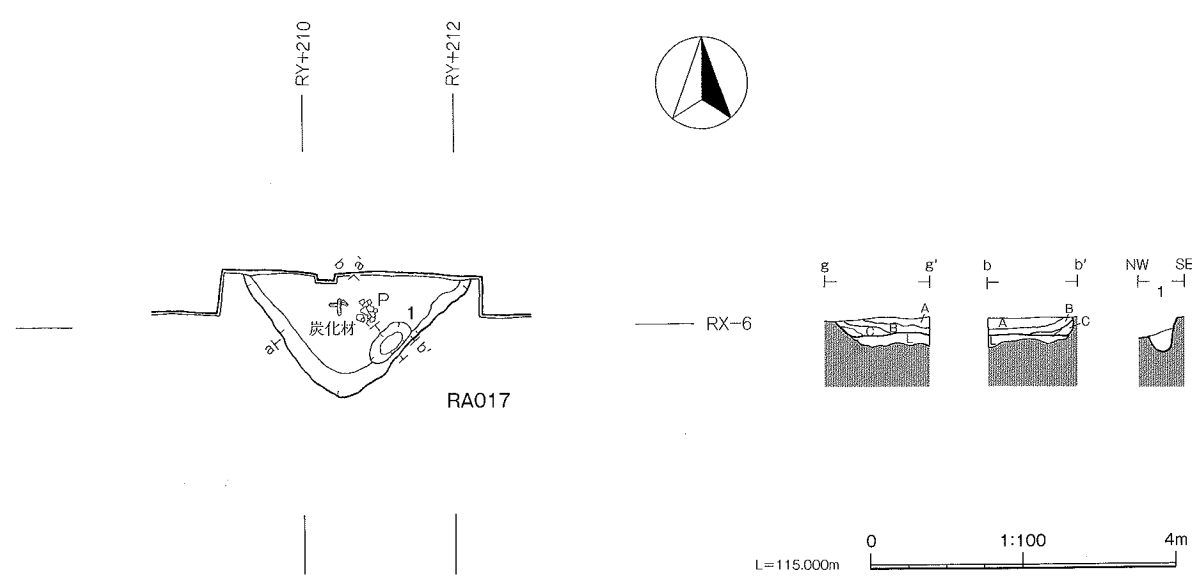
第19图 RA014 竖穴住居跡



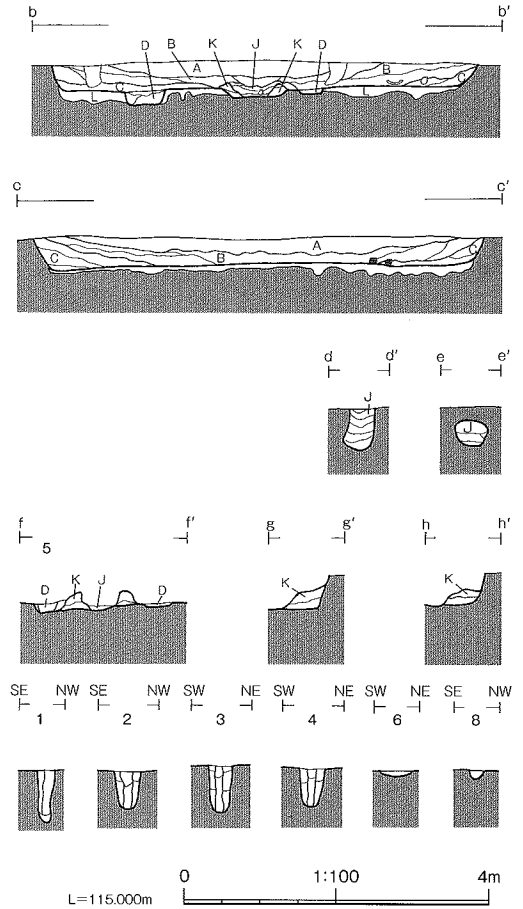
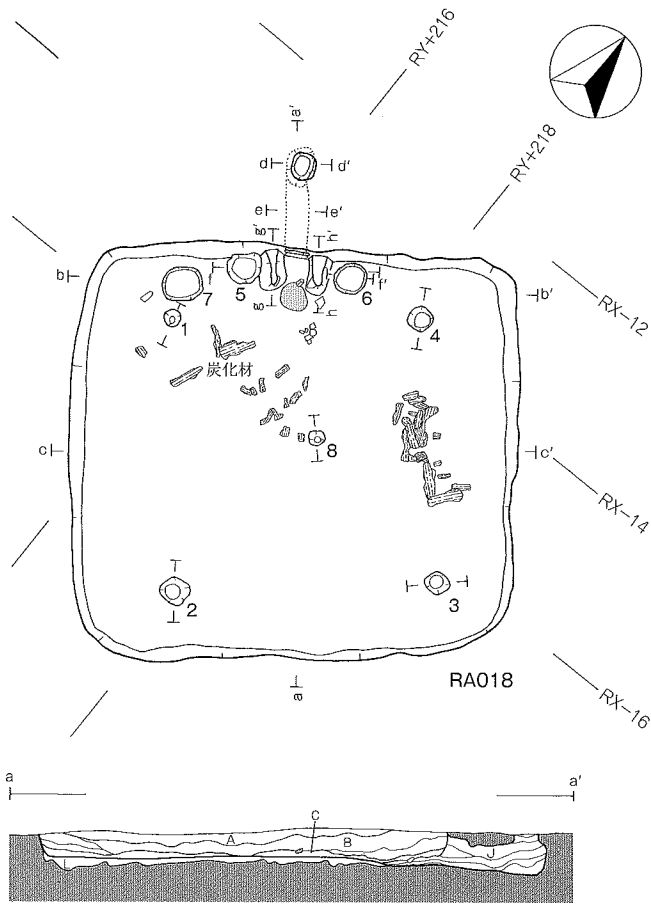
第20图 RA015 竖穴住居跡



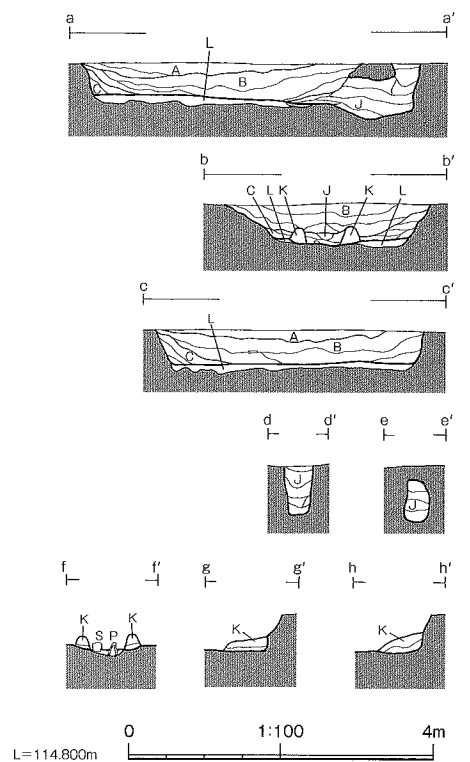
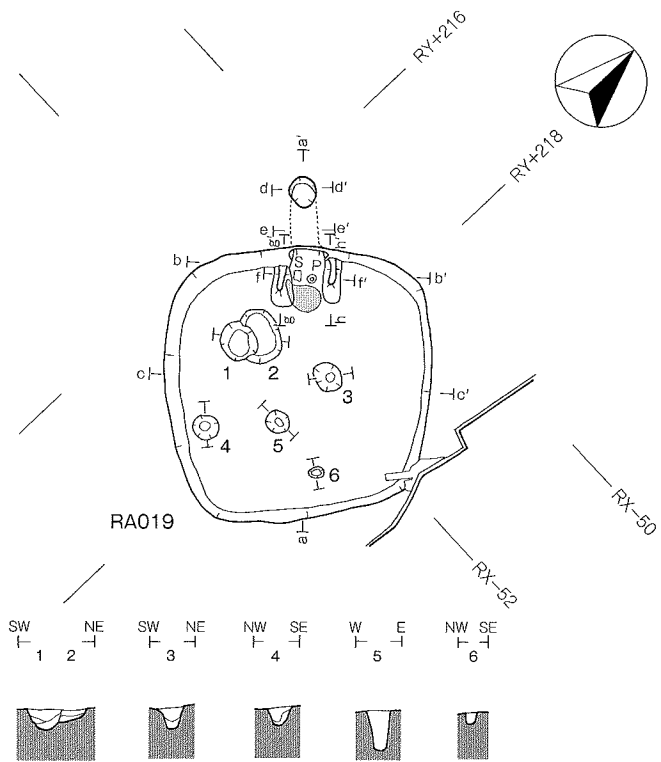
第21図 RA016 竪穴住居跡



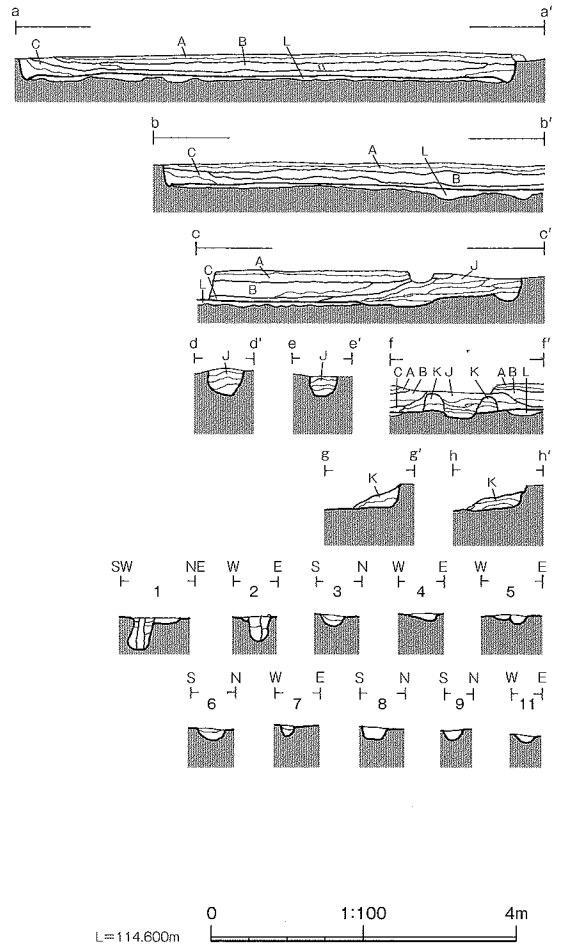
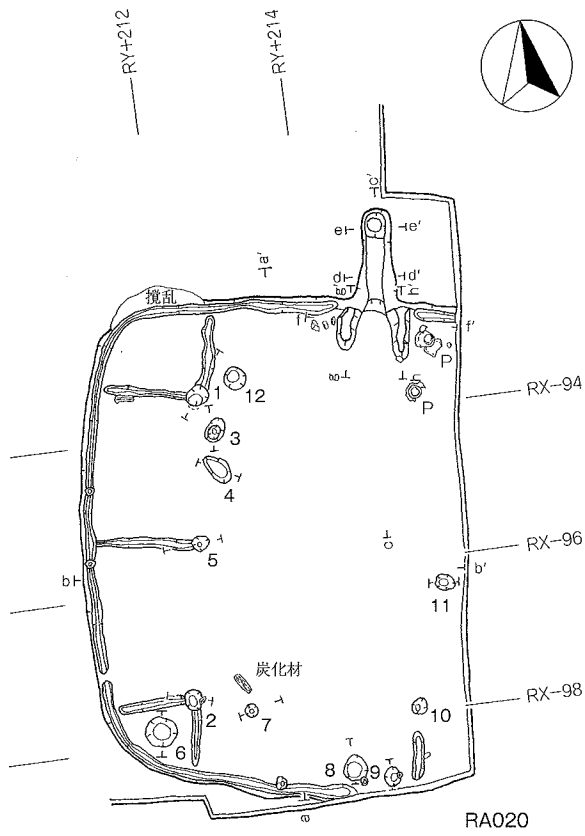
第22図 RA017 竪穴住居跡



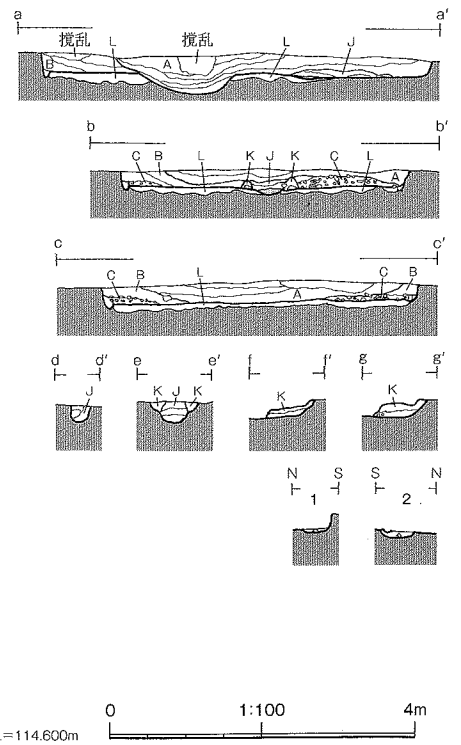
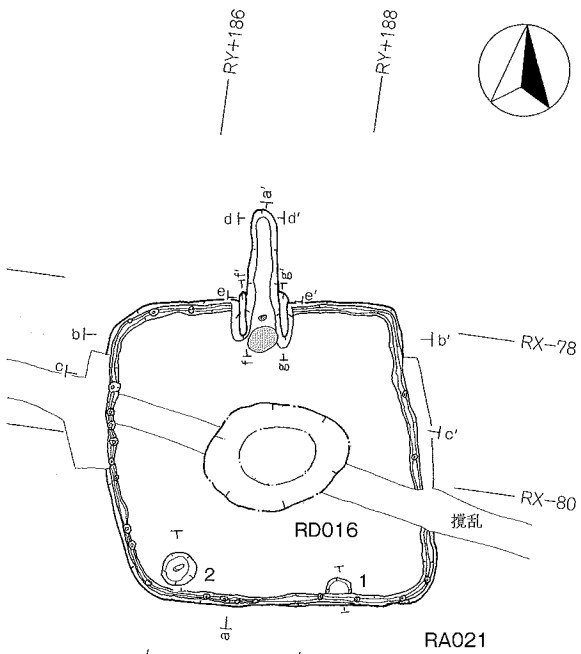
第23図 RA018 竪穴住居跡



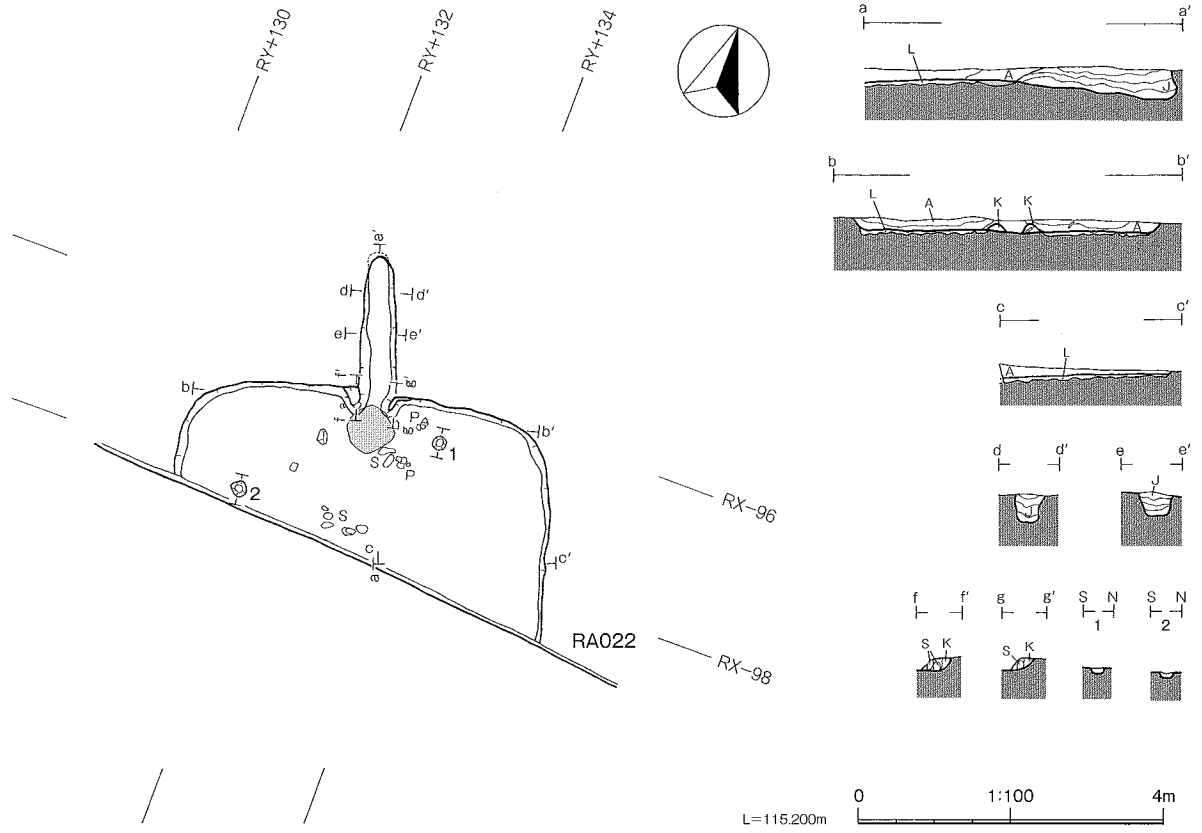
第24図 RA019 竪穴住居跡



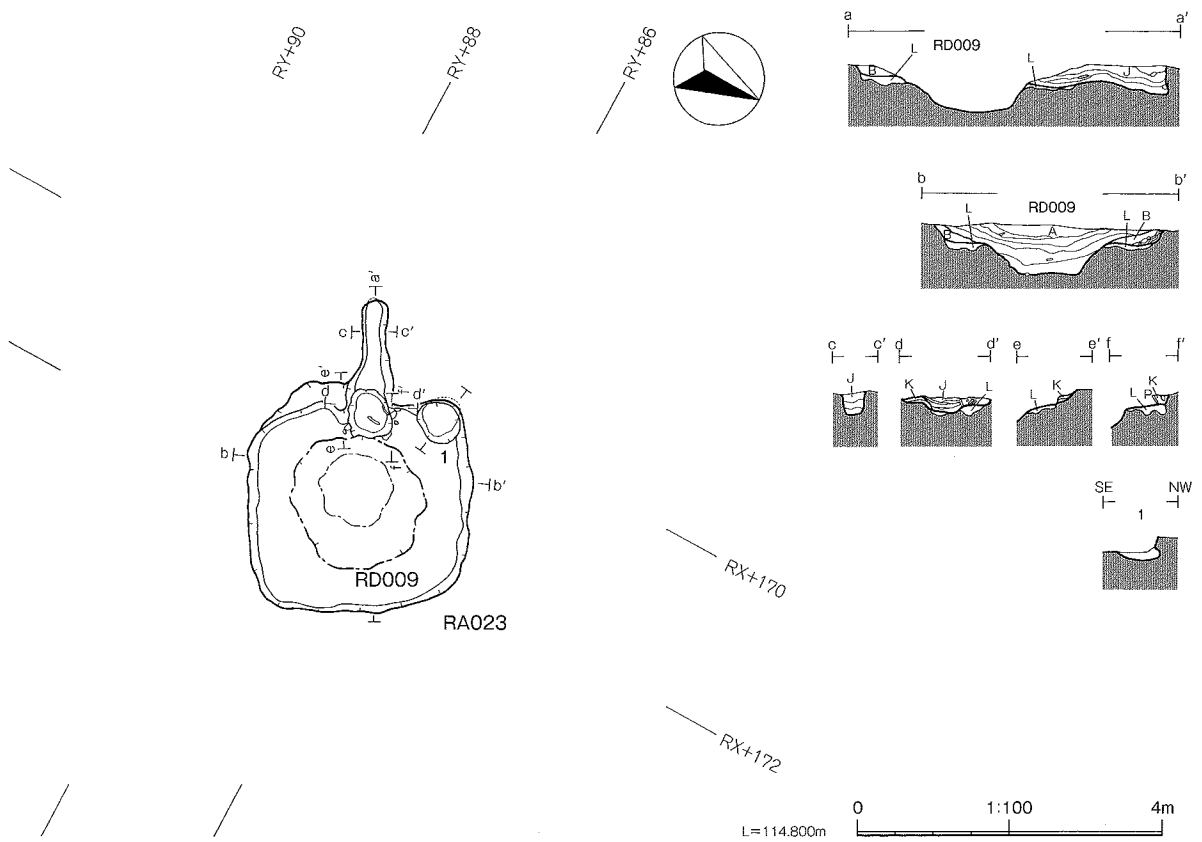
第25図 RA020 竪穴住居跡



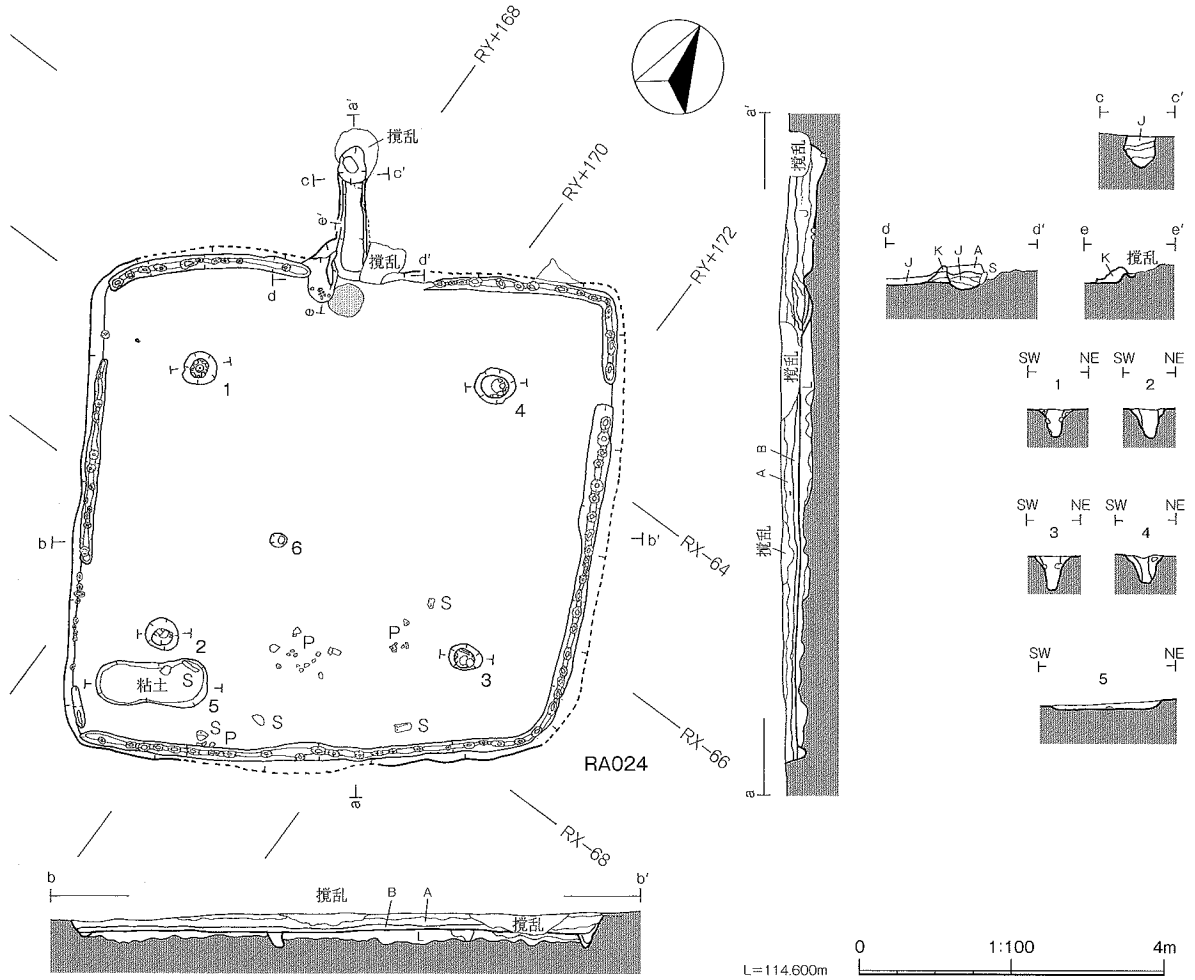
第26図 RA021 竪穴住居跡



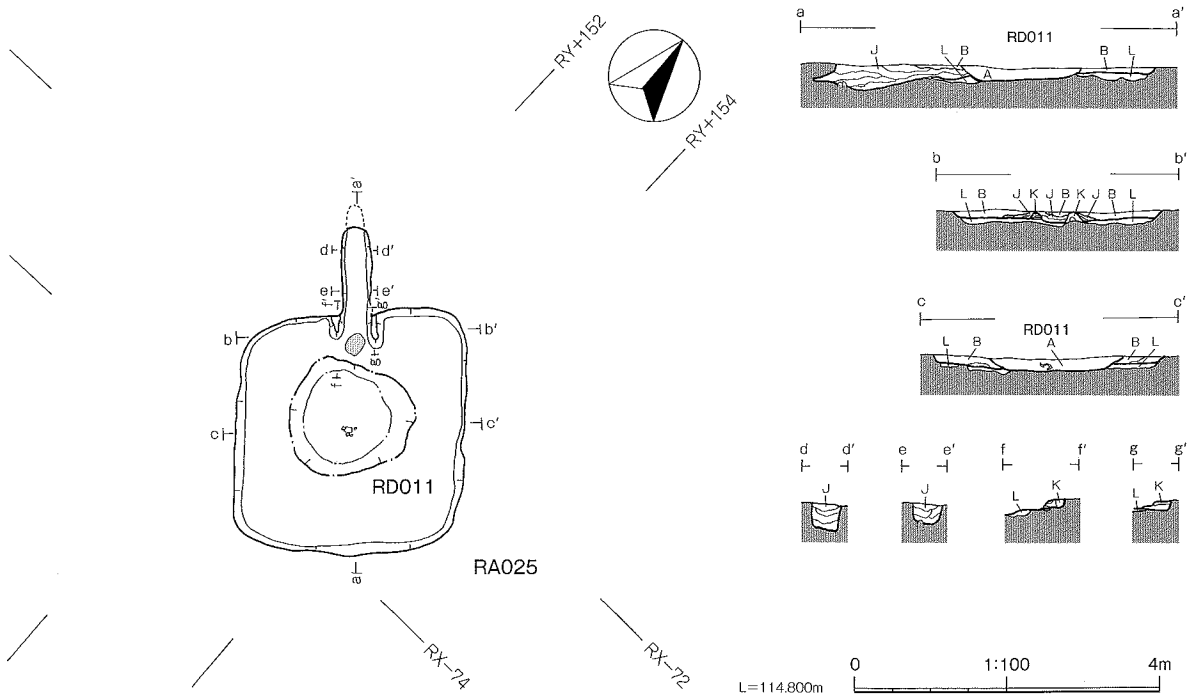
第27図 RA022 豎穴住居跡



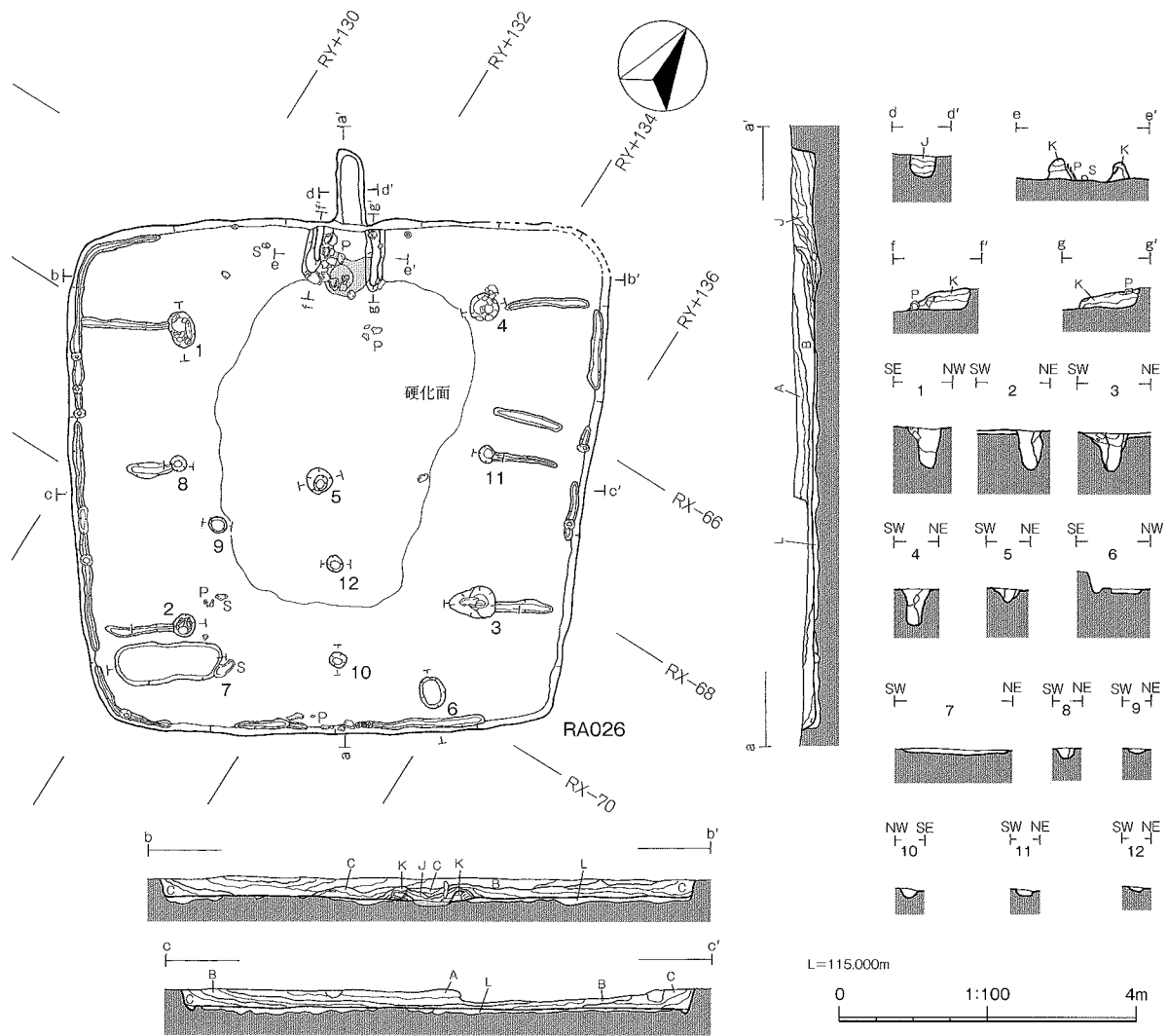
第28図 RA023 豎穴住居跡



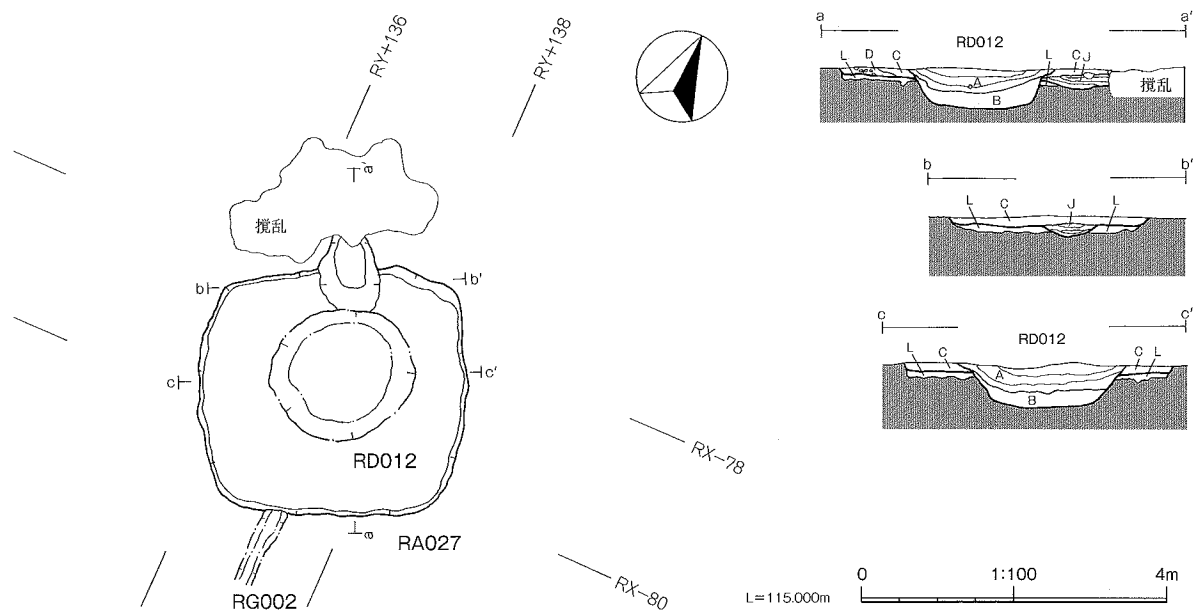
第29図 RA024 豎穴住居跡



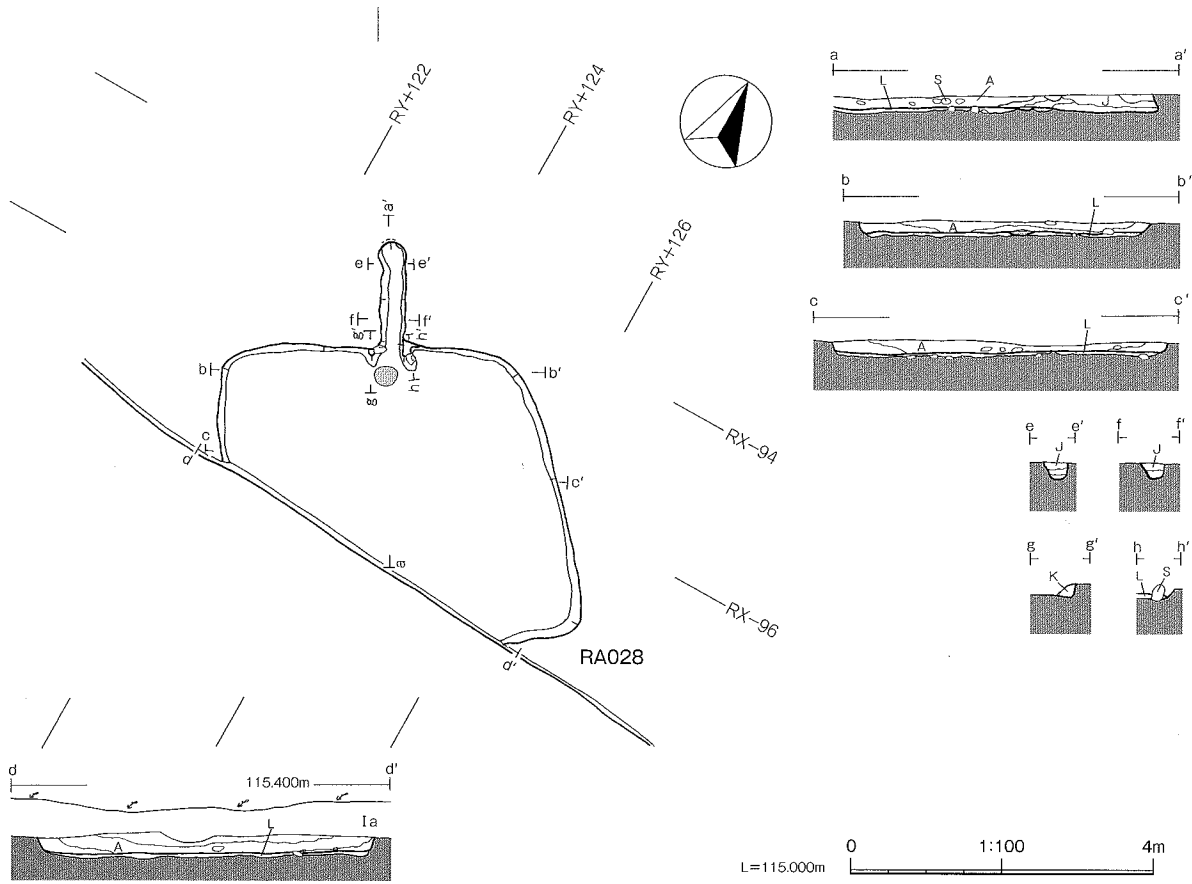
第30図 RA025 豎穴住居跡



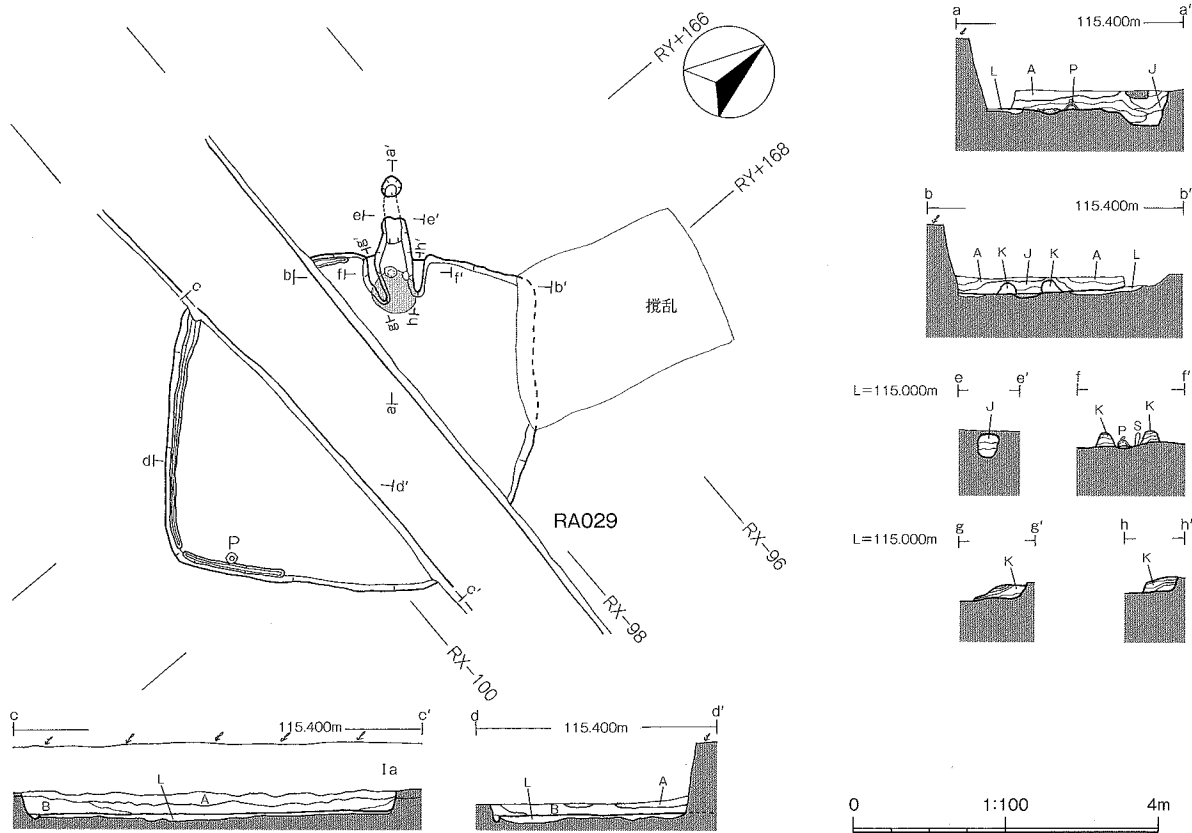
第31图 RA026 竖穴住居跡



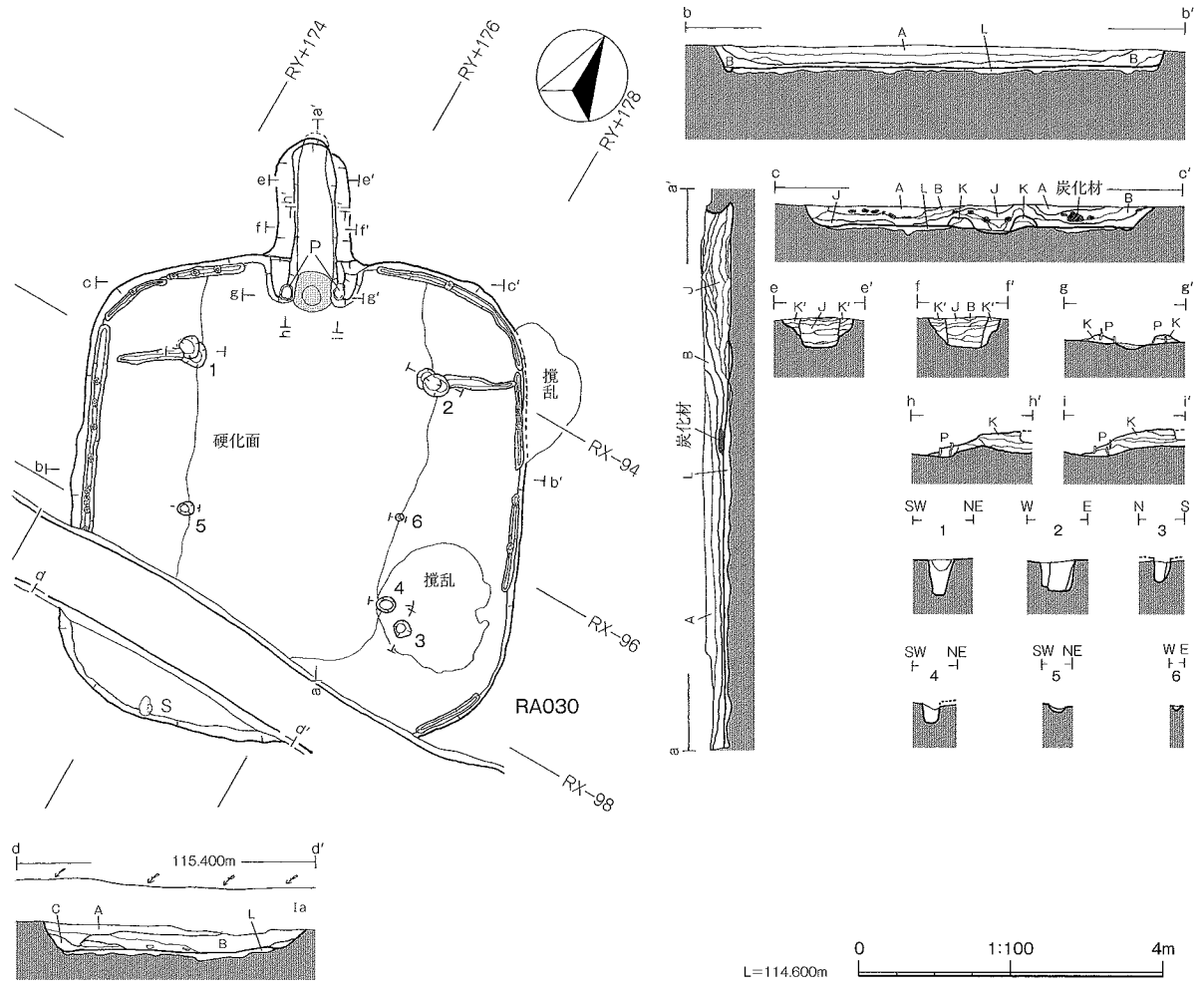
第32图 RA027 竖穴住居跡



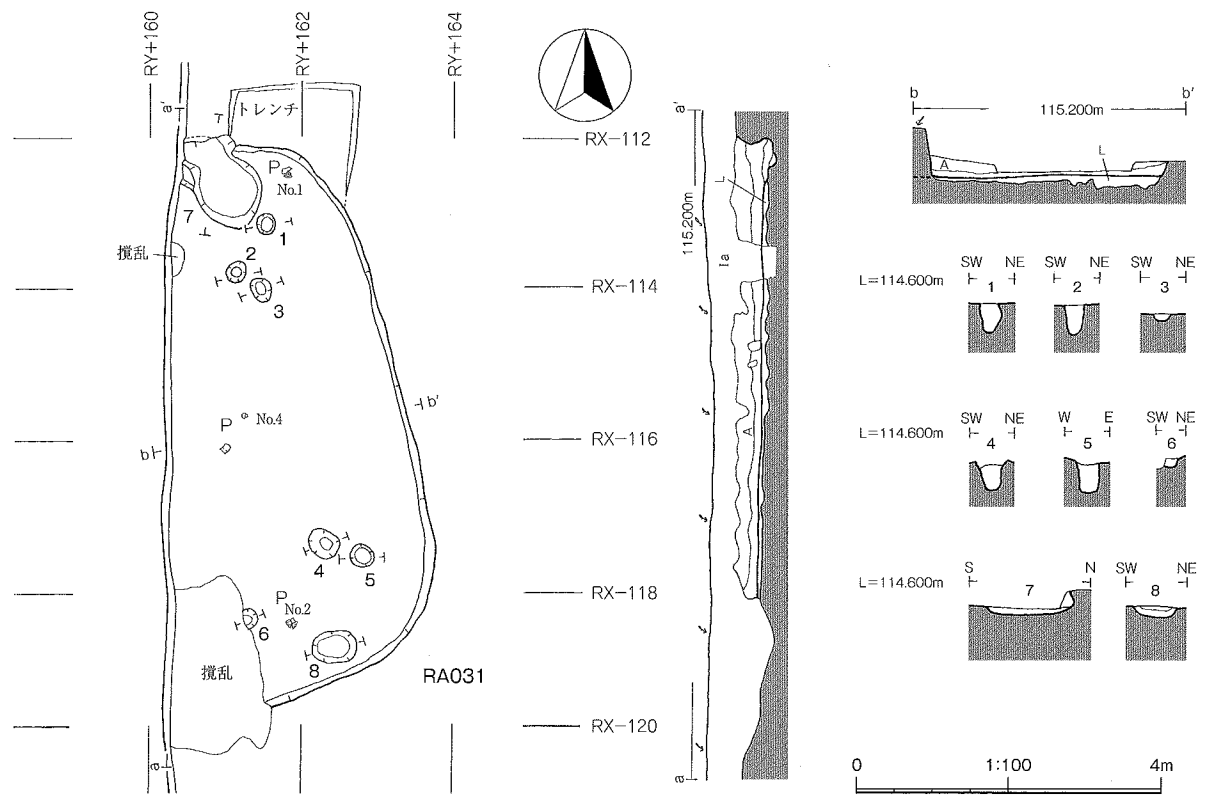
第33図 RA028 竪穴住居跡



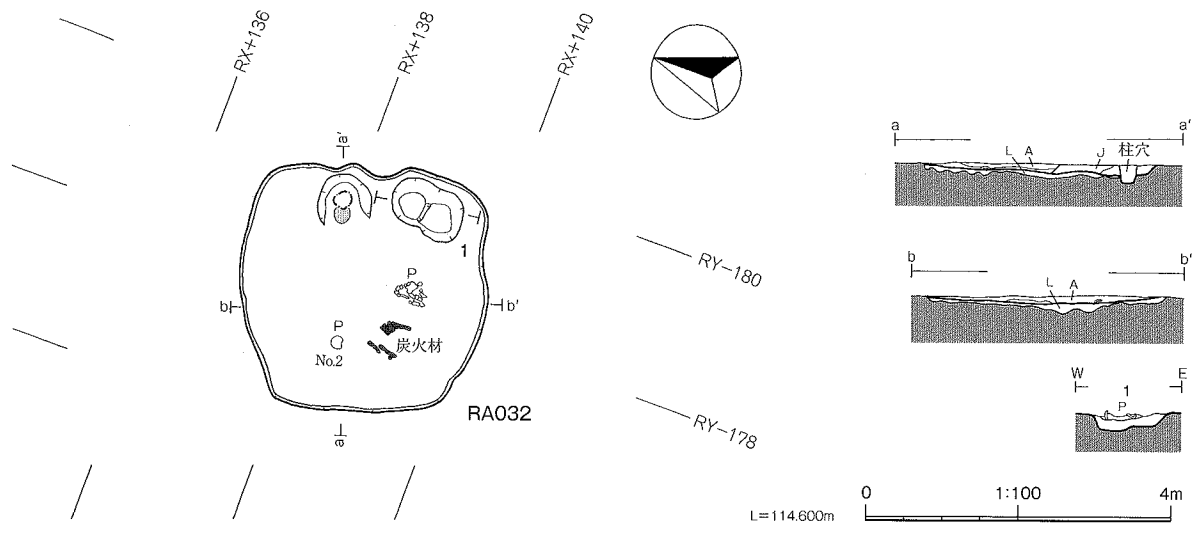
第34図 RA029 竪穴住居跡



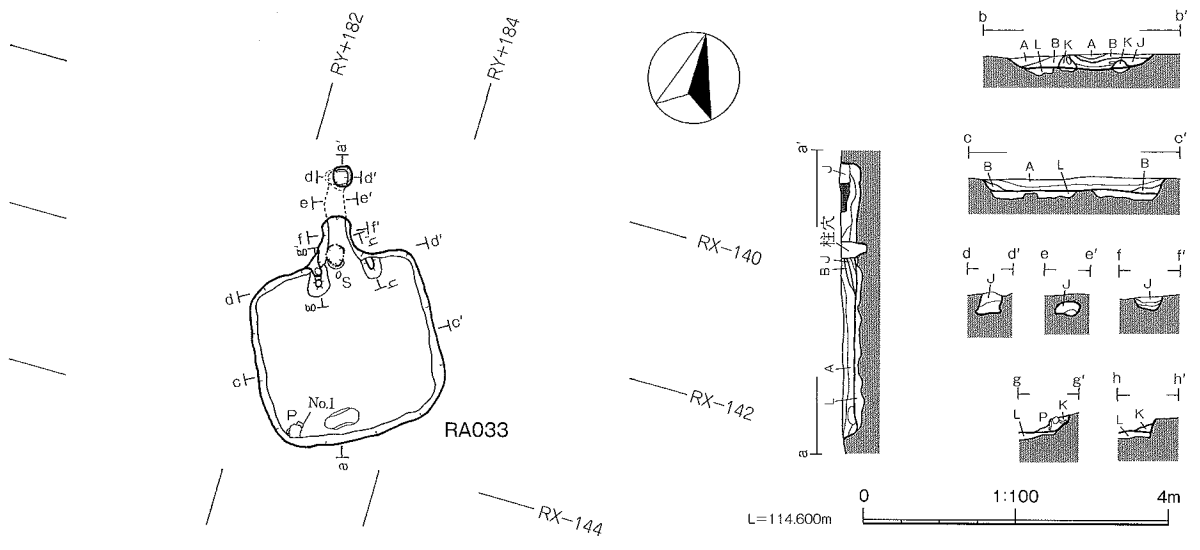
第35図 RA030 竪穴住居跡



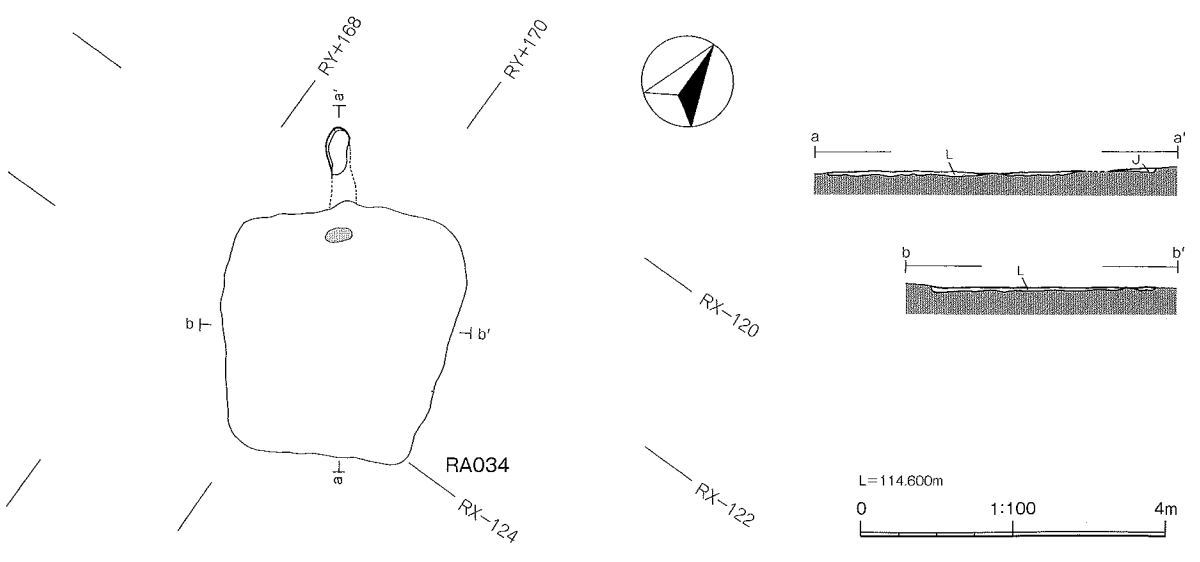
第36図 RA031 竪穴住居跡



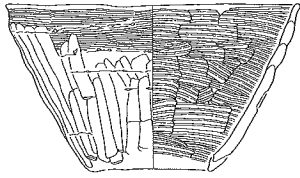
第37図 RA032 竪穴住居跡



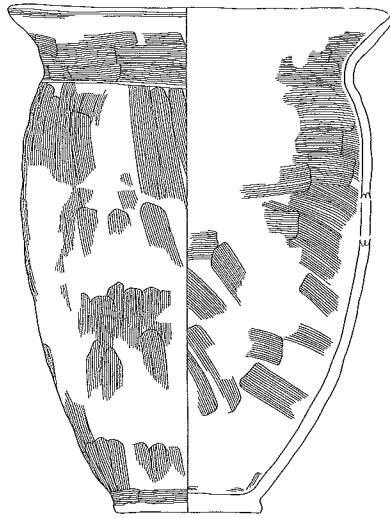
第38図 RA033 竪穴住居跡



第39図 RA034 竪穴住居跡



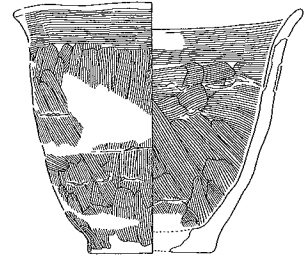
001 土師器飯—RA001—床面No.6



002 土師器甕—RA001—床面No.1



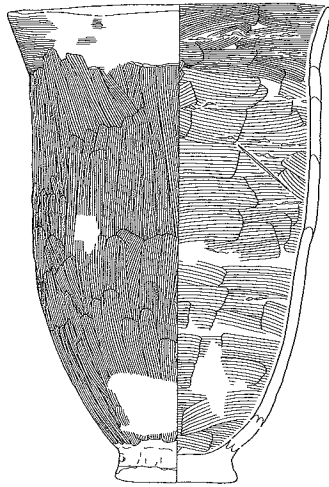
003 土師器坏—RA003—NE区A層



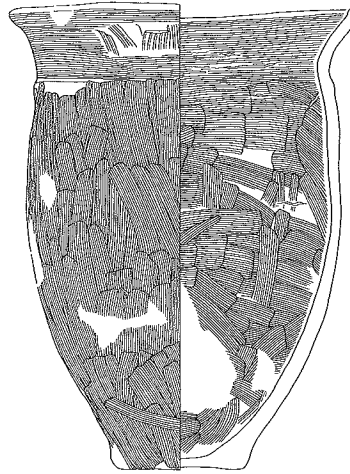
004 土師器甕—RA003—床面No.5

RA001

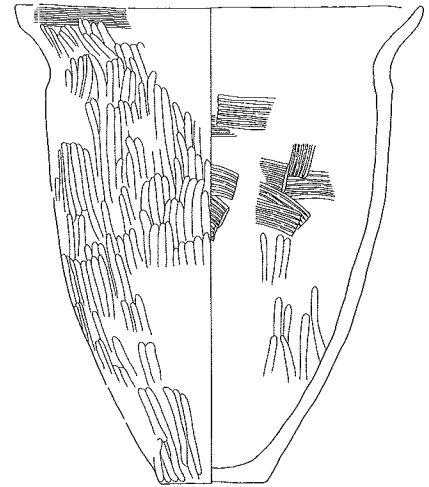
RA003



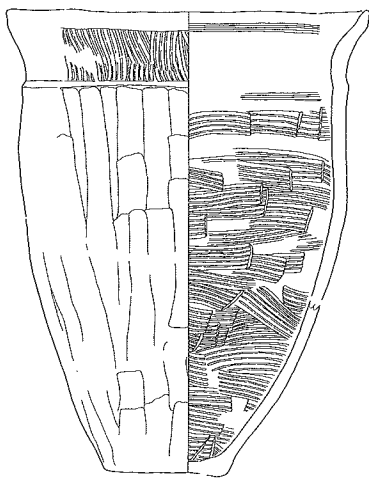
005 土師器甕—RA003—床面No.3



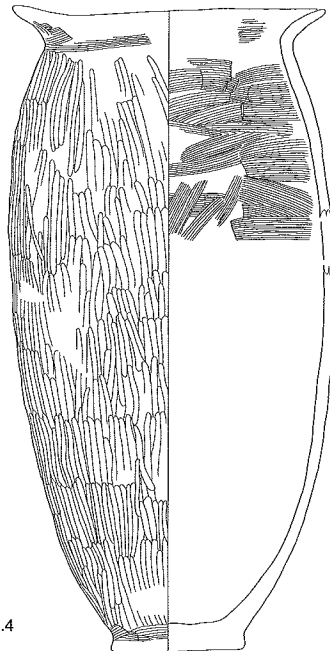
006 土師器甕—RA003—床面No.1



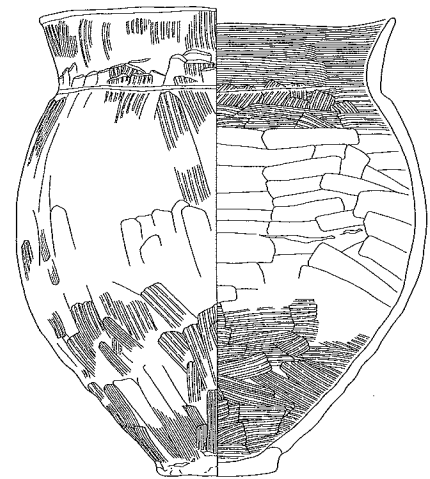
007 土師器甕—RA003—検出面



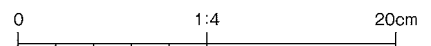
008 土師器甕—
RA003—床面No.4



009 土師器甕—RA003—床面No.2

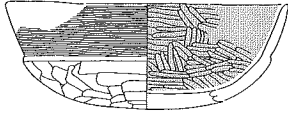


010 土師器球胴甕—RA003—床面No.8

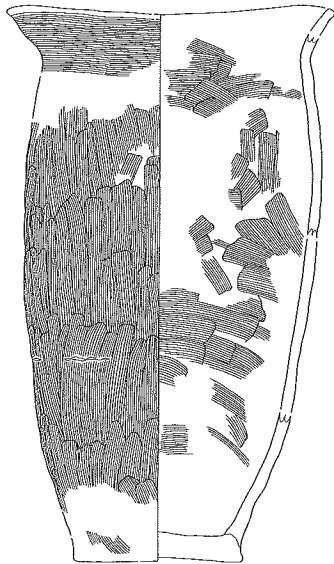


第40図 出土土器(1)

RA002

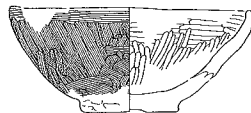


011 土師器坏-RA002-C層

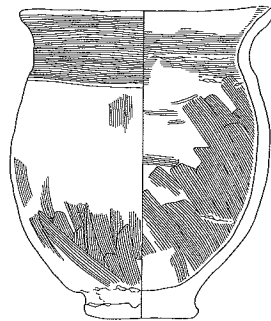


012 土師器甕-RA002-NE区C層

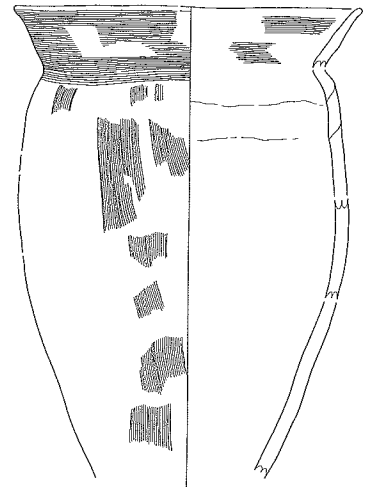
RA004



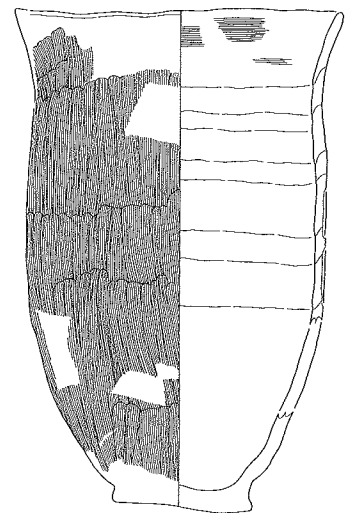
013 土師器坏-RA004-NE区B層



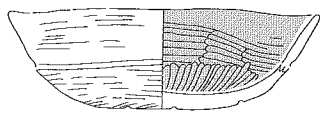
014 土師器甕-RA004-床面No.2



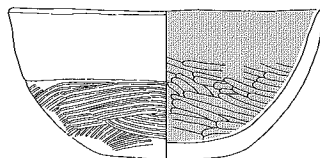
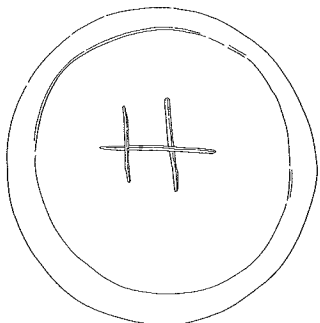
019 土師器甕-RA005-カマド右袖No.5



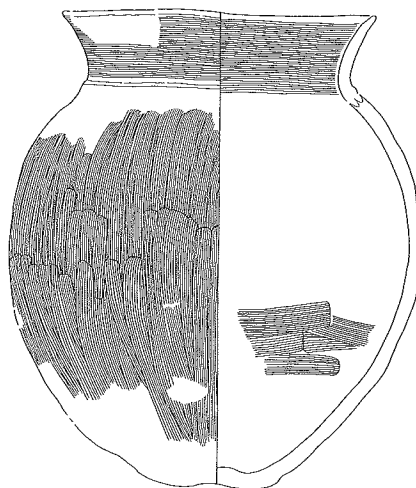
020 土師器甕-RA005-SW区B層



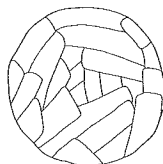
015 土師器坏-RA005-SW区B層-刻書「キ」



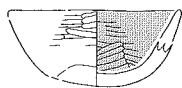
016 土師器坏-RA005-床面No.1



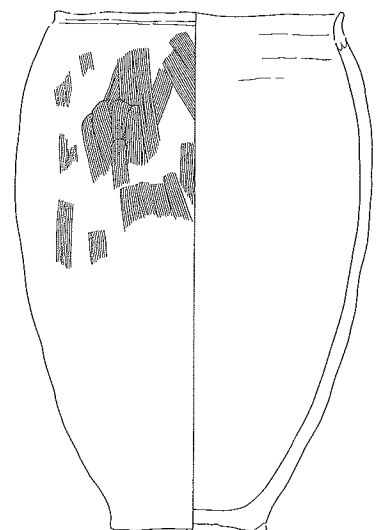
018 土師器球胴甕-RA005-カマド右袖No.4



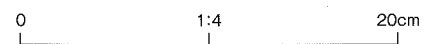
RA005



017 土師器坏-RA005-NW区C層



021 土師器甕-RA005-カマド右袖No.6

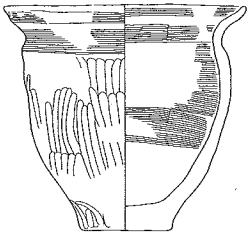


第41図 出土土器(2)

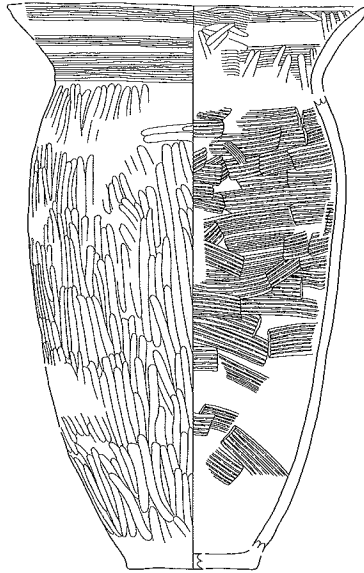
RA007



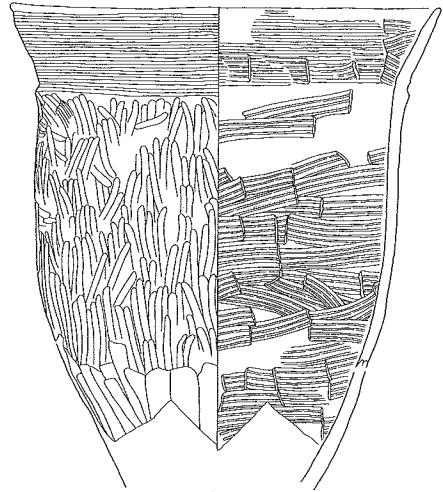
022 土師器坏—RA007—NE区L層



023 土師器甕—RA008—カマド東No.1



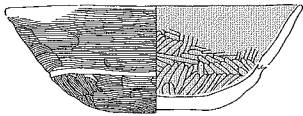
024 土師器甕—RA008—床面No.8



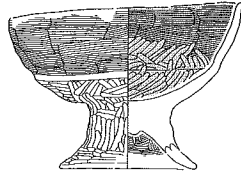
025 土師器甕—RA008—床面No.10

RA008

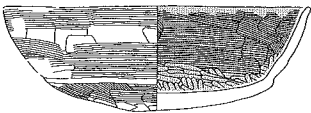
RA009



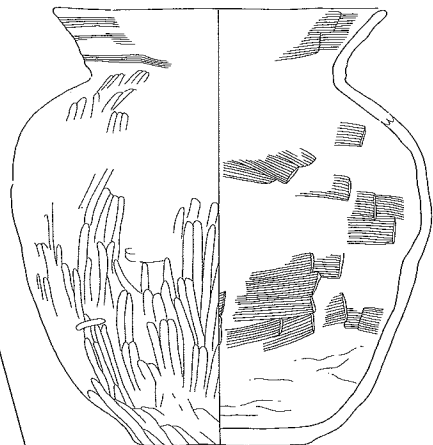
027 土師器坏—RA009—床面No.8



029 土師器高台付坏—RA009—カマド右袖No.3

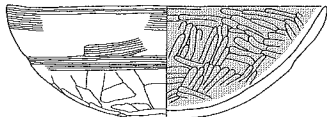


028 土師器坏—RA009—床面No.3

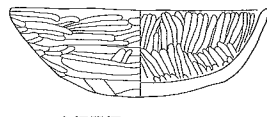


026 土師器球胴甕—RA008—床面No.6

RA010



030 土師器坏—RA010—床面No.1

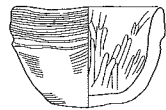


034 土師器坏—RA016—pit1 No.3

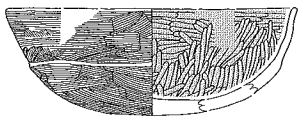
RA012



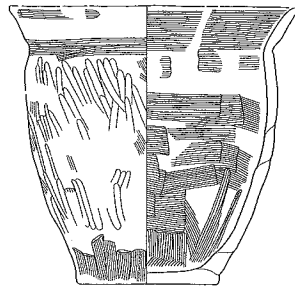
031 土師器坏—RA012—B層



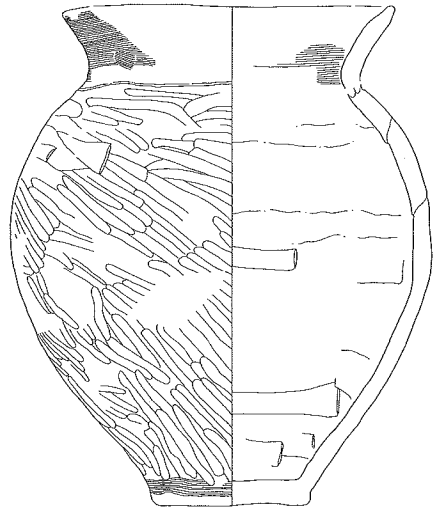
035 土師器坏—RA016—A層



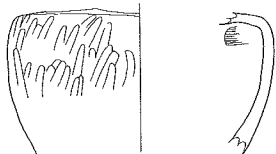
032 土師器坏—RA012—カマド中央A層



036 土師器甕—RA016—pit1 No.6

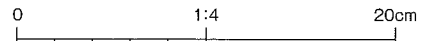


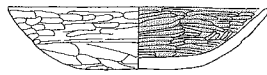
037 土師器球胴甕—RA016—pit1 No.5



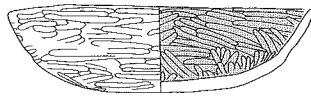
033 土師器瓶—RA012—NW区埋土

RA016

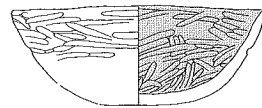




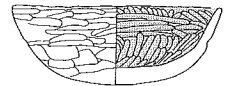
038 土師器环-RA015-床面No.3



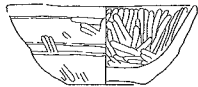
039 土師器环-RA015-床面No.4



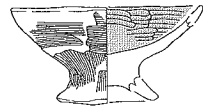
040 土師器环-RA015-NW区B層



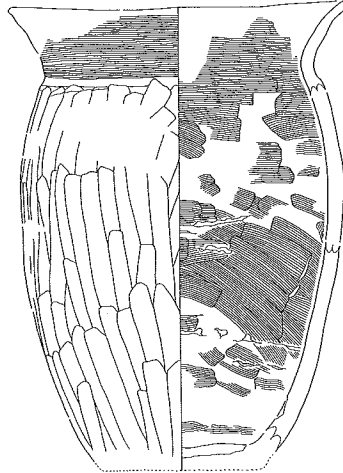
041 土師器环-RA015-床面No.5



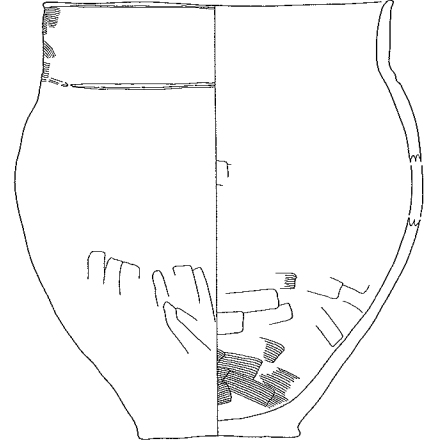
042 土師器环-RA015-SE区C層



043 土師器高台付环-RA015-SW区C層

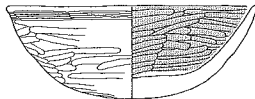


044 土師器甕-RA015-カマド右袖No.1

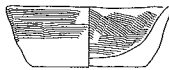


045 土師器甕-RA015-カマド左袖No.2

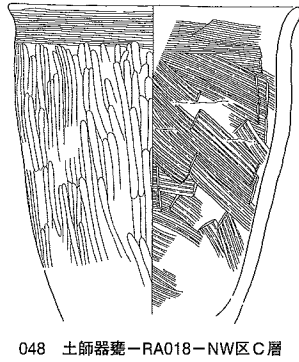
RA015



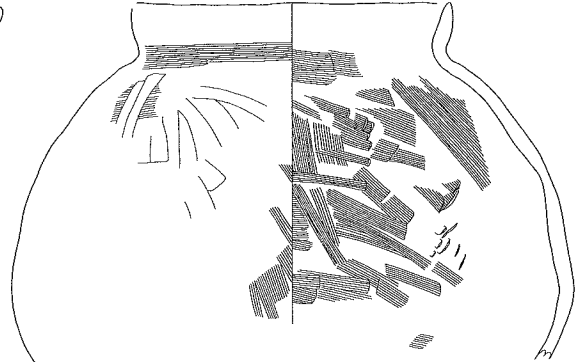
046 土師器环-RA018-NE区A層



047 土師器环-RA018-床面No.1

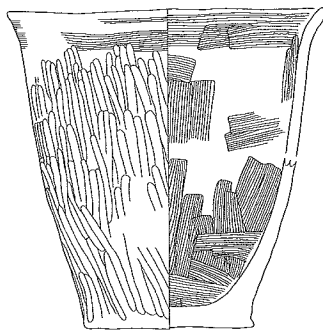


048 土師器甕-RA018-NW区C層



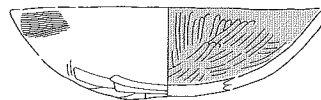
049 土師器球胴甕-RA018-SE区B層

RA018

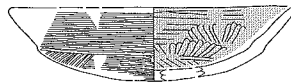


050 土師器甕-RA019-床面No.2

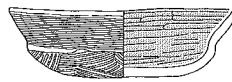
RA019



051 土師器环-RA021-SE区A層

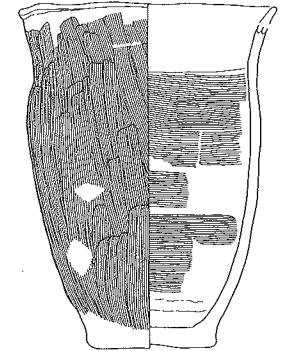


052 土師器环-RA021-SW区A層

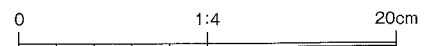


053 土師器环-RA021-pit1底面

RA021

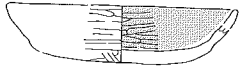


054 土師器甕-RA021-pit2埋土

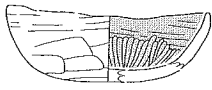


第43図 出土土器(4)

RA020



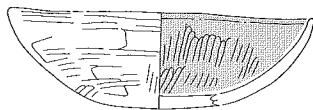
055 土師器坏—RA020—NE区B層



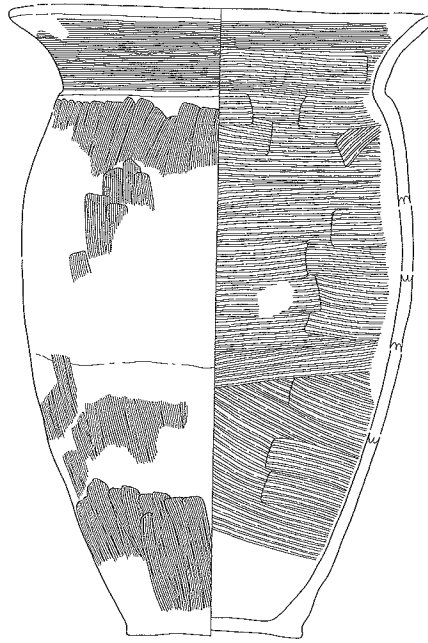
056 土師器坏—RA020—床面No.6



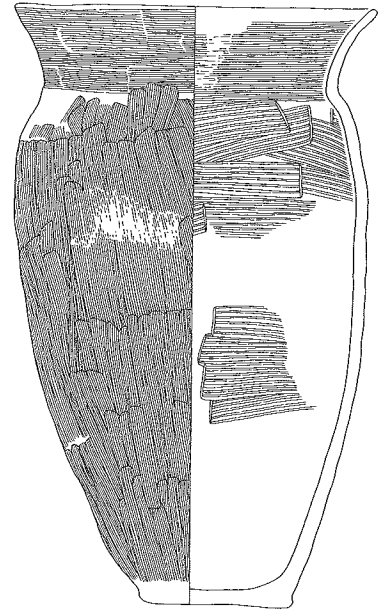
057 土師器坏—RA020—床面No.7



058 土師器坏—RA020—SW区C層

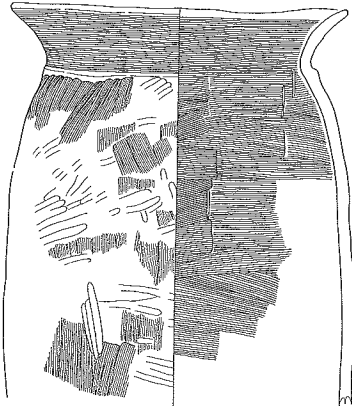


059 土師器甕—RA020—床面No.2・4

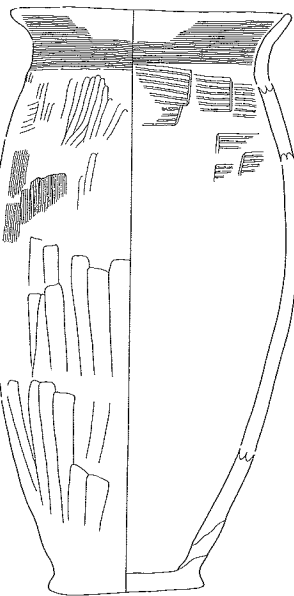


060 土師器甕—RA020—床面No.2

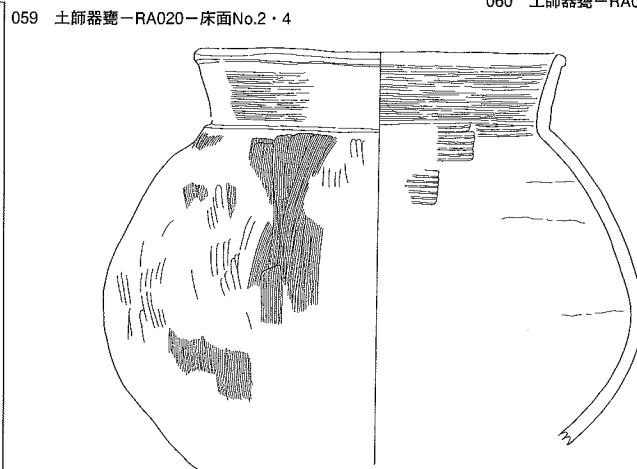
RA023



062 土師器甕—RA023—カマド焚口A層

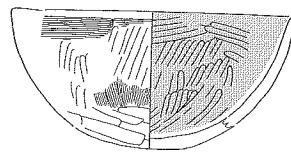


063 土師器甕—RA023—床面

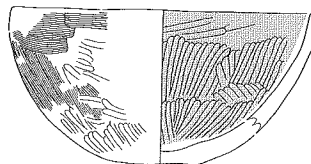


061 土師器球胴甕—RA020—C層

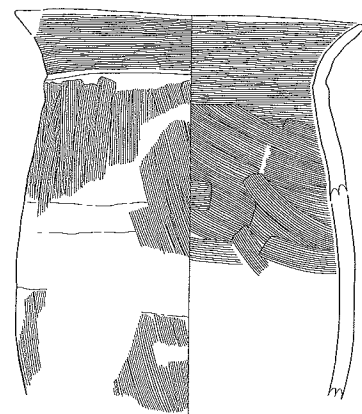
RA030



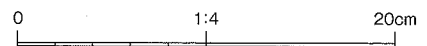
064 土師器坏—RA030—NE区B層



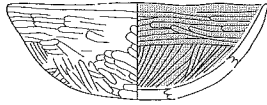
065 土師器坏—RA030—煙道J層



066 土師器甕—RA030—カマド西袖



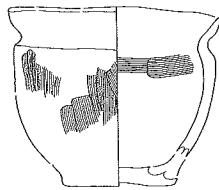
RA026



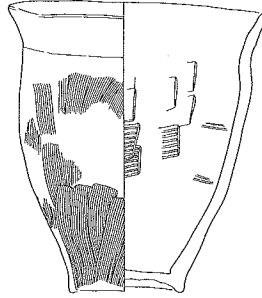
067 土師器坏—RA026—床面No.5



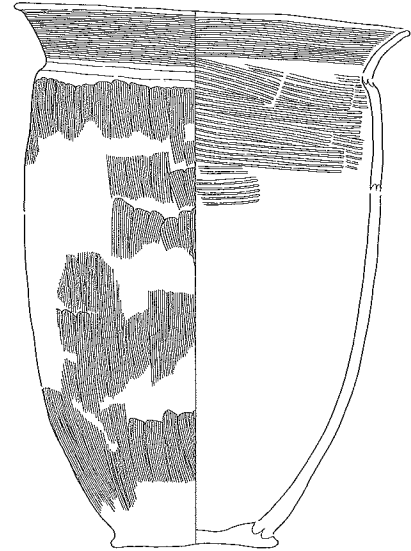
068 土師器坏—RA026—床面No.3



069 土師器甕—RA026—床面No.2

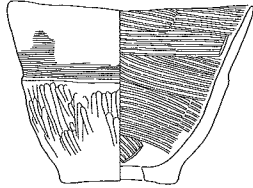


070 土師器甕—RA026—床面No.1



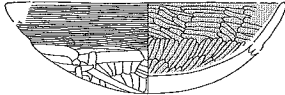
071 土師器甕—RA026—カマド左袖

RA029



072 土師器甕—RA029—床面No.3

RA031



073 土師器坏—RA031—床面No.1

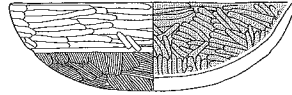


074 土師器坏—RA031—床面No.2



075 土師器坏—RA031—床面No.4

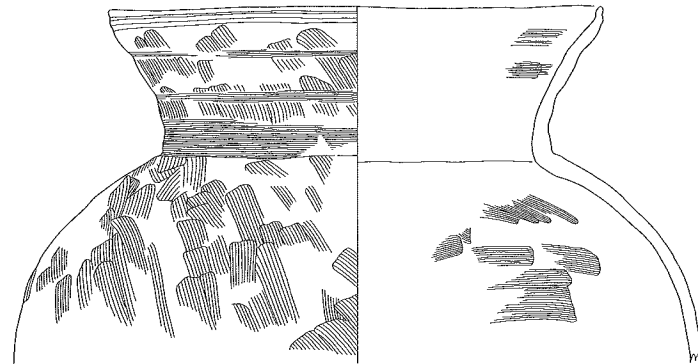
RA032



076 土師器坏—RA032—A層No.2



078 須恵器甕—RA032—A層



077 土師器球胴甕—RA032—pit1 No.1

RA033



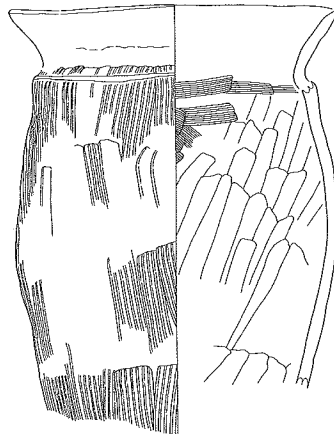
079 土師器坏—RA033—A層



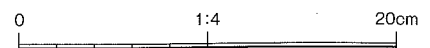
080 土師器坏—RA033—A層



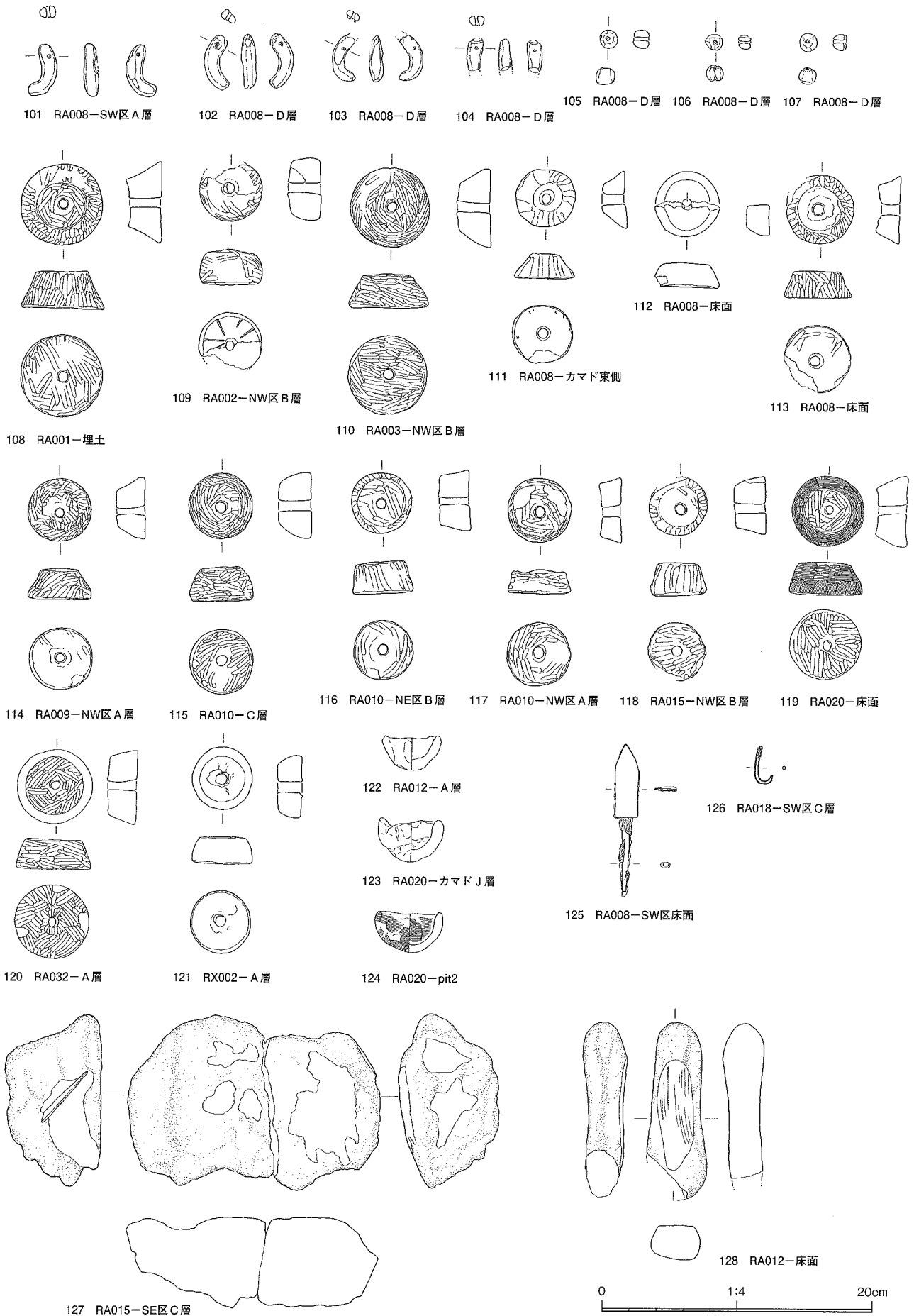
081 土師器坏—RA033—A層



082 土師器甕—RA033—床面No.1



第45図 出土土器(6)



第46図 出土土製品・石製品・鉄製品

表

押回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	出土		寸法 (cm) ※実形・復元のみ					底部切離等	器面調整		農曹等・特徴		
										平面位置	層位	器高	口径	口径/口径	口径/口径	口径/口径		口径/口径	口径/口径		口径/口径	外面
43	038	7	高橋A	ITA	002	RA015	3	土師器	坏口(非ロク口)	NO.3	床面	3.3	13.8	—	—	—	4.2	有段,丸底(平底風)	上半ヘラミガキ,下半ヘラケズリ	ヘラミガキ,黒色処理		
43	039	7	高橋A	ITA	002	RA015	4	土師器	坏口(非ロク口)	NO.4	床面	4.6	16.1	—	—	—	3.5	有段,丸底	上半ヘラミガキ,下半ヘラケズリ+ヘラミガキ	ヘラミガキ,黒色処理		
43	040	7	高橋A	ITA	002	RA015	44	土師器	坏口(非ロク口)	NW区	B	5.2	13.6	—	—	—	2.6	有段,丸底	上半ヘラミガキ(磨滅),下半ヘラミガキ(復元)	ヘラミガキ,黒色処理		
43	041	8	高橋A	ITA	002	RA015	5	土師器	坏口(非ロク口)	NO.5	床面	4.1	11.1	—	—	—	2.7	有段,丸底	上半ヘラミガキ,下半ヘラケズリ	ヘラミガキ,黒色処理		
43	042	8	高橋A	ITA	002	RA015	33	土師器	坏口(非ロク口)	SE区	C	4.1	10.2	—	—	—	2.5	有段,丸底	ヘラミガキ	ヘラミガキ	小型	
43	043	8	高橋A	ITA	002	RA015	36	土師器	坏口(非ロク口)	SW区	C	5.1	10.2	—	—	—	—	—	柱状高台	ヘラミガキ	ヘラミガキ,黒色処理	
43	044	9	高橋A	ITA	002	RA015	1	土師器	窠	カマド右袖 NO.1	—	24.1	18.0	17.1	—	—	1.1	—	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	胎土に雲母含む	
43	045	9	高橋A	ITA	002	RA015	2	土師器	球脚臺	カマド左袖 NO.2	—	23.0	18.6	21.6	8.5	0.9	0.8	木葉痕?	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	ヘラミガキ	外面・内面厚減	
形勢																						
押回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	出土		寸法 (cm) ※実形・復元のみ					底部切離等	器面調整		農曹等・特徴		
43	046	—	高橋A	ITA	002	RA018	22	土師器	坏口(非ロク口)	NE区	A	4.9	13.3	—	—	—	2.7	有段,丸底	口縁部ヘラナデ,体部ヘラミガキ	ヘラミガキ,黒色処理		
43	047	8	高橋A	ITA	002	RA018	1	土師器	坏口(非ロク口)	NO.1	床面	3.2	8.7	—	—	—	2.7	平底	ヘラナデ(磨滅)	ヘラナデ(磨滅)	小型	
43	048	—	高橋A	ITA	002	RA018	11	土師器	小笠臺	NW区	C	—	15.4	14.8	—	—	—	欠損	口縁部ナデ,体部ヘラミガキ	口縁部ナデ,体部ヘラミガキ		
43	049	—	高橋A	ITA	002	RA018	16	土師器	球脚臺	SE区	B	—	16.6	29.8	—	—	—	欠損	口縁部ナデ,体部ヘラナデ+ヘラケズリ	ヘラケズリ		
形勢																						
押回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	出土		寸法 (cm) ※実形・復元のみ					底部切離等	器面調整		農曹等・特徴		
43	050	9	高橋A	ITA	002	RA019	2	土師器	窠	NO.2	床面	16.8	17.0	15.2	9.0	1.1	1.0	—	口縁部ナデ,体部ヘラミガキ	ヘラナデ		
形勢																						
押回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	出土		寸法 (cm) ※実形・復元のみ					底部切離等	器面調整		農曹等・特徴		
43	051	8	高橋A	ITA	003	RA021	7	土師器	坏口(非ロク口)	SE区	A	4.8	16.8	—	—	—	3.5	丸底	体部上半ヘラナデ,下半ヘラケズリ+ヘラミガキ(磨滅)	ヘラミガキ,黒色処理		
43	052	8	高橋A	ITA	003	RA021	10	土師器	坏口(非ロク口)	SW区	A	3.9	15.2	—	—	—	3.9	有段,丸底	体部上半ナデ,下半ハケメ	ヘラミガキ,黒色処理		
43	053	8	高橋A	ITA	003	RA021	1	土師器	坏口(非ロク口)	pH1	床面	3.6	12.2	—	—	—	3.4	丸底,有段	体部上半ナデ,下半ハケメ(磨滅)	ヘラミガキ,黒色処理		
43	054	9	高橋A	ITA	003	RA021	2	土師器	窠	pH2	埋土上部	18.1	13.6	12.4	6.9	1.1	0.8	—	ヘラナデ	ヘラナデ		
形勢																						
押回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	出土		寸法 (cm) ※実形・復元のみ					底部切離等	器面調整		農曹等・特徴		
44	055	—	高橋A	ITA	003	RA020	54	土師器	坏口(非ロク口)	NE区	B	3.0	12.2	—	—	—	4.1	有段,丸底	体部上半ヘラミガキ,下半ヘラケズリ+ヘラミガキ	ヘラミガキ,黒色処理		
44	056	8	高橋A	ITA	003	RA020	19	土師器	坏口(非ロク口)	No.6	床面	3.8	10.8	—	—	—	2.8	丸底	体部上半ミガキ,下半ヘラケズリ(磨滅)	ヘラミガキ,黒色処理		
44	057	8	高橋A	ITA	003	RA020	18	土師器	坏口(非ロク口)	No.7	床面	4.6	12.3	—	—	—	2.7	有段,丸底	体部上半ミガキ,下半ヘラケズリ(磨滅)	ヘラミガキ,黒色処理		
44	058	8	高橋A	ITA	003	RA020	37	土師器	坏口(非ロク口)	SW区	C	5.1	16.2	—	—	—	3.2	丸底	ヘラケズリ+ヘラミガキ(磨滅)	ヘラミガキ,黒色処理		
44	059	10	高橋A	ITA	003	RA020	20	土師器	窠	No.2・4	床面	33.0	22.4	20.7	9.3	1.1	0.7	—	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	外面・内面コゲ状炭化物	
44	060	10	高橋A	ITA	003	RA020	21	土師器	窠	No.2	床面	31.6	19.2	18.8	8.1	1.0	0.6	—	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	胎土に雲母含む	
44	061	—	高橋A	ITA	003	RA020	48	土師器	球脚臺	トレンチ③	C	—	19.7	28.5	—	—	—	欠損	口縁部ナデ,体部ヘラナデ+ヘラミガキ(磨滅)	口縁部ナデ(磨滅),体部ハケメ		
形勢																						
押回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	出土		寸法 (cm) ※実形・復元のみ					底部切離等	器面調整		農曹等・特徴		
44	062	—	高橋A	ITA	003	RA023	5	土師器	窠	カマド入口	J	—	17.8	18.6	—	—	—	欠損	口縁部ナデ,体部ヘラナデ+ヘラミガキ	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	外面コゲ状炭化物	
44	063	10	高橋A	ITA	003	RA023	4	土師器	窠	pH9	底面	30.8	14.9	16.5	8.2	0.9	0.5	木葉痕	口縁部ナデ,体部上半ミガキ+ヘラナデ,下半ヘラケズリ	口縁部ナデ,体部ハケメ	外面・内面コゲ状炭化物	
形勢																						
押回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	出土		寸法 (cm) ※実形・復元のみ					底部切離等	器面調整		農曹等・特徴		
44	064	—	高橋A	ITA	003	RA030	39	土師器	坏口(非ロク口)	NE区	B	7.1	15.0	—	—	—	2.1	丸底	体部上半ヘラナデ+ヘラミガキ(磨滅),下半ヘラケズリ	ヘラミガキ,黒色処理		
44	065	8	高橋A	ITA	003	RA030	35	土師器	坏口(非ロク口)	踏道	J	8.1	16.1	—	—	—	2.0	丸底	ヘラナデ+ヘラミガキ(磨滅)	ヘラミガキ,黒色処理		
44	066	—	高橋A	ITA	003	RA030	7	土師器	窠	カマド西袖	—	—	18.5	18.0	—	—	—	欠損	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	外面コゲ状炭化物	
形勢																						
押回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	出土		寸法 (cm) ※実形・復元のみ					底部切離等	器面調整		農曹等・特徴		
45	067	8	高橋A	ITA	003	RA026	11	土師器	坏口(非ロク口)	No.5	床面	5.1	13.6	—	—	—	2.7	丸底	ヘラミガキ	ヘラミガキ,黒色処理		
45	068	—	高橋A	ITA	003	RA026	2	土師器	坏口(非ロク口)	No.3	床面	3.6	8.6	—	—	—	2.4	平底	ヘラナデ	ヘラナデ	小型,胎土に雲母含む	
45	069	10	高橋A	ITA	003	RA026	16	土師器	窠	No.2	床面	9.5	11.3	10.6	6.0	1.1	1.2	—	ヘラナデ(磨滅)	ヘラナデ(磨滅)		
45	070	10	高橋A	ITA	003	RA026	15	土師器	窠	No.1	床面	15.2	13.6	12.2	6.0	1.1	0.9	—	ヘラナデ	ハケメ	体部内面コゲ状炭化物	
45	071	8	高橋A	ITA	003	RA026	9	土師器	窠	カマド左袖	—	—	28.2	21.0	18.9	8.8	1.1	0.7	木葉痕	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ,体部ハケメ	内面コゲ状炭化物,胎土に雲母含む
形勢																						
押回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	出土		寸法 (cm) ※実形・復元のみ					底部切離等	器面調整		農曹等・特徴		
45	072	10	高橋A	ITA	003	RA029	4	土師器	窠	No.3	床面	9.6	12.8	10.8	6.2	1.2	1.3	木葉痕,穿孔?	口縁部ナデ(磨滅),体部ヘラミガキ	ハケメ		
形勢																						
押回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	出土		寸法 (cm) ※実形・復元のみ					底部切離等	器面調整		農曹等・特徴		
45	073	8	高橋A	ITA	005	RA031	1	土師器	坏口(非ロク口)	NO.1	床面	4.8	14.8	—	—	—	3.1	有段,丸底	上半ヘラナデ,下半ヘラケズリ	ヘラミガキ,黒色処理		
45	074	8	高橋A	ITA	005	RA031	2	土師器	坏口(非ロク口)	NO.2	床面	3.9	13.8	—	—	—	3.5	有段,丸底(平底風)	上半ヘラミガキ,下半ヘラケズリ+ヘラミガキ	ヘラミガキ,黒色処理		
45	075	—	高橋A	ITA	005	RA031	4	土師器	坏口(非ロク口)	NO.4	床面	—	—	—	—	—	7.8	—	ヘラミガキ,黒色処理	ヘラミガキ,黒色処理	ヘラミガキ,黒色処理	
形勢																						
押回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	出土		寸法 (cm) ※実形・復元のみ					底部切離等	器面調整		農曹等・特徴		
45	076	8	高橋A	ITA	005	RA032	2	土師器	坏口(非ロク口)	NO.2	A	4.7	15.0	—	—	—	3.2	有段,丸底	上半ヘラミガキ,下半ヘラケズリ	ヘラミガキ,黒色処理	胎土に雲母含む	
45	077	—	高橋A	ITA	005	RA032	1	土師器	球脚臺	pH1,NO.1	B	—	26	36.3	—	—	—	—	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	外面・内面厚減	
45	078	—	高橋A	ITA	005	RA032	24	須恵器	窠	—	A	—	—	—	—	—	—	—	タタキ(平行文)	—		
形勢																						
押回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	出土		寸法 (cm) ※実形・復元のみ					底部切離等	器面調整		農曹等・特徴		
45	079	8	高橋A	ITA	005	RA033	8	土師器	坏口(非ロク口)	—	A	3.2	12.4	—	—	—	3.9	有段,丸底?	ヘラミガキ	ヘラミガキ,黒色処理	外面・内面厚減	
45	080	8	高橋A	ITA	005	RA033	15	土師器	坏口(非ロク口)	ヘルト①北側	A	3.6	8.8	—	—	—	2.4	丸底?	上半ヘラミガキ,下半ヘラケズリ	ヘラミガキ,黒色処理	小型	
45	081	8	高橋A	ITA	005	RA033	9	土師器	坏口(非ロク口)	—	A	4.8	8.4	—	—	—	1.8	平底,木葉痕	ナデ+ヘラナデ	ヘラミガキ,黒色処理	小型	
45	082	—	高橋A	ITA	005	RA033	1	土師器	窠	NO.1	床面	—	17.4	—	—	—	—	—	体部ハケメ	体部ヘラナデ+ヘラケズリ	外面・内面厚減	

第2表 出土土器観察表(2)

		形態					出土		寸法 (cm)			特徴			
押図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	全長	幅	厚さ	特徴
46	101	10	高橋A	ITA	002	RA008	5-1	土製品	勾玉	SW区	A	3.9	1.1	1.1	穿孔
46	102	10	高橋A	ITA	002	RA008	6-1	土製品	勾玉	—	D	4.1	1.2	1.0	穿孔
46	103	10	高橋A	ITA	002	RA008	5-2	土製品	勾玉	—	D	欠損	1.0	1.0	穿孔
46	104	—	高橋A	ITA	002	RA008	6-2	土製品	勾玉	—	D	欠損	1.1	1.0	穿孔
		形態					出土		寸法 (cm)			特徴			
押図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	径	厚さ	形状	特徴
46	105	10	高橋A	ITA	002	RA008	7-1	土製品	丸玉	—	D	1.9	1.2	不整球形	穿孔
46	106	—	高橋A	ITA	002	RA008	7-2	土製品	丸玉	—	D	1.3	1.2	不整球形	穿孔
46	107	10	高橋A	ITA	002	RA008	7-3	土製品	丸玉	—	D	1.3	1.2	不整球形	穿孔
		形態					出土		寸法 (cm)			特徴			
押図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	径	厚さ	形状	特徴
46	108	10	高橋A	ITA	002	RA001	1	土製品	紡錘車	—	—	6.0	2.7	断面台形	中央穿孔
46	109	—	高橋A	ITA	002	RA002	1	土製品	紡錘車	NW区	B	4.7	2.7	断面台形	中央穿孔。放射状の沈線文様あり
46	110	10	高橋A	ITA	002	RA003	1	土製品	紡錘車	NW区	B	5.9	2.5	断面台形	中央穿孔
46	111	10	高橋A	ITA	002	RA008	1	土製品	紡錘車	カマド東側	---	4.5	1.9	断面台形	中央穿孔
46	112	—	高橋A	ITA	002	RA008	2	土製品	紡錘車	NO.2	床面	4.8	1.8	断面台形	中央穿孔
46	113	10	高橋A	ITA	002	RA008	3	土製品	紡錘車	NW区,NO.3	床面	5.0	2.0	断面台形	中央穿孔
46	114	10	高橋A	ITA	002	RA009	1	土製品	紡錘車	NW区	A	4.7	2.3	断面台形	中央穿孔
46	115	10	高橋A	ITA	002	RA010	2	土製品	紡錘車	—	C2	4.8	2.5	断面台形	中央穿孔
46	116	10	高橋A	ITA	002	RA010	3	土製品	紡錘車	NE区	B	4.5	2.3	断面台形	中央穿孔
46	117	10	高橋A	ITA	002	RA010	4	土製品	紡錘車	NE区	A	4.7	1.8	断面台形	中央穿孔
46	118	10	高橋A	ITA	002	RA015	5	土製品	紡錘車	NE区	B	4.4	2.5	断面台形	中央穿孔
46	119	10	高橋A	ITA	003	RA020	1	土製品	紡錘車	No.1	床面	5.3	2.5	断面台形	中央穿孔。胎土ウソモ含
46	120	10	高橋A	ITA	005	RA032	1	土製品	紡錘車	—	A	5.6	2.3	断面台形	中央穿孔
46	121	10	高橋A	ITA	002	RX002	6	土製品	紡錘車	—	A	4.5	2.0	断面台形	中央穿孔
		形態					出土		寸法 (cm)			特徴			
押図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	高さ	口径	形状	特徴
46	122	—	高橋A	ITA	002	RA012	1	土製品	ミニチュア	—	A	2.5	4.9	碗形	手づくね
46	123	—	高橋A	ITA	003	RA020	2	土製品	ミニチュア	カマド	J	3.1	4.6	碗形	手づくね
46	124	—	高橋A	ITA	003	RA020	4	土製品	ミニチュア	pit2	A2	3.0	4.8	碗形	外面・内面へフナデ
		形態					出土		寸法 (cm)			特徴			
押図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	全長	特徴		
6	125	10	高橋A	ITA	002	RA008	1	鉄製品	鉄線	SW区	床面	10.9	箭頭部：長さ5.4cm・鋒幅1.8cm・厚さ0.2cm・逆刺なし。茎：長さ5.5cm・幅0.3~0.5cm・厚さ0.3cm。木質残存		
46	126	10	高橋A	ITA	002	RA018	1	鉄製品	釣針	SW区	C	2.8	断面径0.2cm。基部に糸状腐蝕痕		
		形態					出土		寸法 (cm)			特徴			
押図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	全長	幅	厚さ	特徴
6	127	—	高橋A	ITA	002	RA015	6	石製品	礫石	SE区	C	18.9	12.9	6.6	火山岩(礫石)
46	128	—	高橋A	ITA	002	RA012	7	石製品	礫石	—	床面	13.0	3.5~4.4	2.5~3.3	砂岩

第3表 出土遺物観察表

遺構名	長軸一辺長 (m)	床面積 (㎡)	主柱穴	周溝	仕切溝	土坑重複	規模
RA026	6.95	47.61	○	○	○	×	大型
RA024	6.80	48.28	○	×	×	×	
RA020	6.55	(51.09)	○	○	○	×	
RA030	6.40	38.40	○	○	○	×	
RA012	5.83	38.24	○	○	○	×	
RA006	5.67	33.51	○	○	×	×	
RA015	5.34	31.99	○	○	×	×	
RA018	5.32	31.71	○	○	×	×	
RA005	5.05	28.03	○	○	×	×	
RA004	4.83	25.12	×	×	×	×	
RA002	4.66	22.74	×	○	×	×	
RA009	4.66	22.14	×	×	×	×	
RA003	4.46	20.29	×	○	×	×	
RA008	4.39	22.26	×	○	×	×	
RA001	4.36	18.31	×	×	×	×	
RA029	4.35	21.05	×	×	×	×	
RA011	4.26	15.08	×	×	×	×	
RA010	4.16	18.35	×	○	×	×	
RA016	4.02	17.13	×	×	×	×	
RA007	4.01	16.72	×	×	×	○	
RA021	4.00	16.40	×	○	×	○	
RA028	3.85	16.56	×	×	×	×	
RA019	3.57	12.64	×	×	×	×	
RA014	3.48	12.18	×	○	×	×	
RA034	3.30	8.96	×	×	×	×	
RA027	3.20	11.36	×	×	×	○	
RA032	3.20	10.08	×	×	×	×	
RA025	3.10	9.30	×	×	×	○	
RA023	3.00	8.85	×	×	×	○	
RA013	2.91	8.93	×	×	×	×	
RA033	2.35	5.64	×	×	×	×	

遺構名	カマド方向	長軸一辺長 (m)	床面積 (㎡)	特徴	グループ	
RA020	N 8.0 ° E 北	6.55	(51.09)	大型	A	
RA007	N 3.0 ° W 北	4.01	16.72			
RA001	N 5.0 ° W 北	4.36	18.31			
RA021	N 8.0 ° W 北	4.00	16.40			
RA008	N 12.0 ° W 北	4.39	22.26			
RA010	N 12.0 ° W 北	4.16	18.35			
RA033	N 14.0 ° W 北	2.35	5.64			
RA009	N 18.0 ° W 北	4.66	22.14			
RA022	N 19.0 ° W 北	3.00以上	—			
RA003	N 20.0 ° W 北	4.46	20.29			
RA016	N 20.0 ° W 北	4.02	17.13			
RA015	N 21.0 ° W 北	3.48	12.18	大型	B	
RA006	N 22.0 ° W 北	5.67	33.51	大型		
RA027	N 26.5 ° W 北西	3.20	11.36			
RA012	N 27.0 ° W 北西	5.83	38.24	大型		
RA005	N 28.0 ° W 北西	5.05	28.03	大型		
RA030	N 28.5 ° W 北西	6.40	38.40	大型		
RA028	N 29.0 ° W 北西	3.85	16.56			
RA014	N 30.0 ° W 北西	3.48	12.18			
RA011	N 32.0 ° W 北西	4.26	15.08			
RA026	N 33.5 ° W 北西	6.95	47.61	大型		C
RA002	N 36.0 ° W 北西	4.66	22.74			
RA018	N 36.0 ° W 北西	5.32	31.71	大型		
RA024	N 36.0 ° W 北西	6.80	48.28	大型		
RA034	N 36.0 ° W 北西	3.30	8.96			
RA004	N 42.0 ° W 北西	4.83	25.12	大型	D	
RA025	N 43.0 ° W 北西	3.10	9.30			
RA019	N 47.0 ° W 北西	3.57	12.64			
RA029	W 37.0 ° N 北西	4.35	21.05			
RA023	W 27.0 ° S 南西	3.00	8.85			
RA013	S 23.0 ° E 南東	2.91	8.93			

第4表 竪穴住居跡検討表

写 真 图 版



第2次調査区全景（南から）



第3次調査区全景（南から）

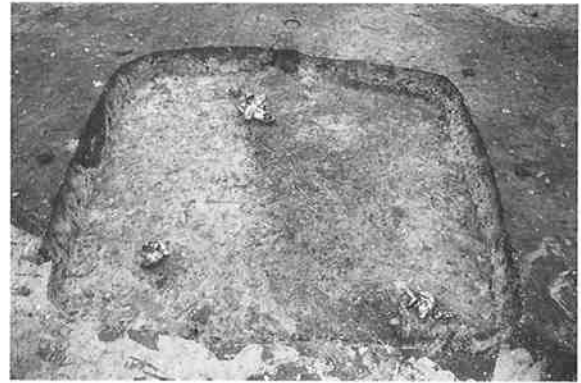


第5次調査区全景（南から）

第1図版 発掘調査区全景



RA001 豎穴住居跡



RA003 豎穴住居跡



RA004 豎穴住居跡



RA006 豎穴住居跡



RA005 豎穴住居跡北半



RA005 豎穴住居跡南半



RA007 豎穴住居跡



RA008 豎穴住居跡

第2図版 豎穴住居跡(1)



RA009 豎穴住居跡



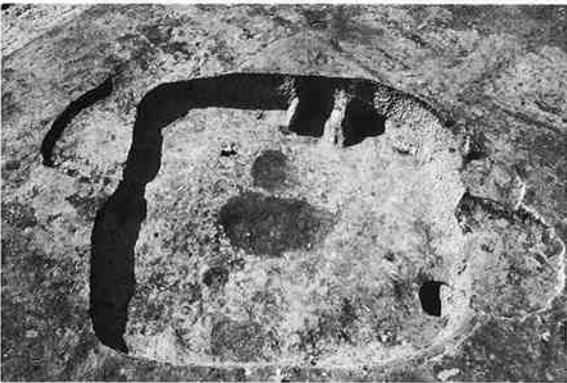
RA010 豎穴住居跡



RA012 豎穴住居跡



RA013 豎穴住居跡



RA014 豎穴住居跡



RA015 豎穴住居跡



RA016 豎穴住居跡

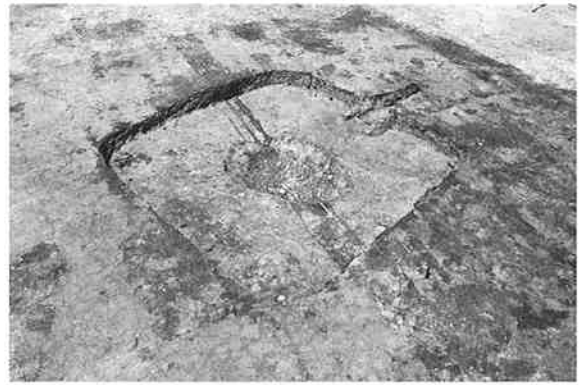


RA018 豎穴住居跡

第3図版 豎穴住居跡(2)



RA020 竪穴住居跡



RA021 竪穴住居跡



RA022 竪穴住居跡



RA023 竪穴住居跡



RA024 竪穴住居跡



RA025 竪穴住居跡



RA026 竪穴住居跡



RA029 竪穴住居跡



RA030 豎穴住居跡



RA031 豎穴住居跡



RA032 豎穴住居跡



RA033 豎穴住居跡

第5図版 豎穴住居跡(4)



RA003豎穴住居跡出土土器



RA005豎穴住居跡出土土器



RA015豎穴住居跡出土土器



RA020豎穴住居跡出土土器

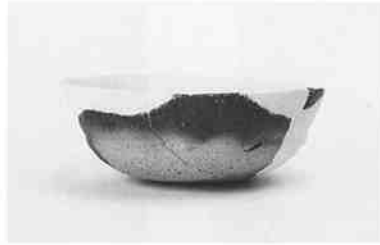


RA026豎穴住居跡出土土器

第6図版 出土遺物(1)



003 土師器坏-RA003



011 土師器坏-RA002



013 土師器坏-RA004



015 土師器坏-RA005



016 土師器坏-RA005



017 土師器坏-RA005



022 土師器坏-RA007



027 土師器坏-RA009



028 土師器坏-RA009



029 土師器高台付坏-RA009



030 土師器坏-RA010



031 土師器坏-RA012



032 土師器坏-RA012



034 土師器坏-RA016



035 土師器坏-RA016



038 土師器坏-RA015



039 土師器坏-RA015



040 土師器坏-RA015

第7図版 出土遺物(2)



041 土師器坏-RA015



042 土師器坏-RA015



043 土師器坏-RA015



047 土師器坏-RA018



051 土師器坏-RA021



052 土師器坏-RA021



053 土師器坏-RA021



056 土師器坏-RA020



057 土師器坏-RA020



058 土師器坏-RA020



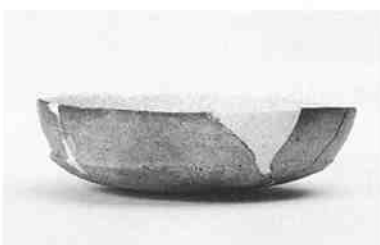
065 土師器坏-RA030



067 土師器坏-RA026



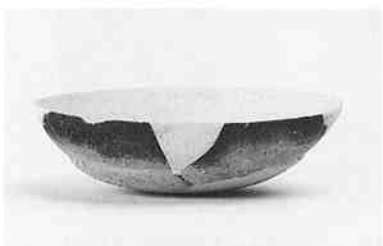
073 土師器坏-RA031



074 土師器坏-RA031



076 土師器坏-RA032



079 土師器坏-RA033



080 土師器坏-RA033



081 土師器坏-RA033

第8図版 出土遺物(3)



001 土師器甑 - RA001



002 土師器甗 - RA001



004 土師器甗 - RA003



005 土師器甗 - RA003



006 土師器甗 - RA003



010 土師器球胴甗 - RA003



012 土師器甗 - RA002



014 土師器甗 - RA004



018 土師器球胴甗 - RA005



020 土師器甗 - RA005



023 土師器甗 - RA008



024 土師器甗 - RA008



044 土師器甗 - RA015



045 土師器球胴甗 - RA015



050 土師器甗 - RA019



054 土師器甗 - RA021

第9図版 出土遺物(4)



059 土師器甕 - RA020



060 土師器甕 - RA020



063 土師器甕 - RA023



069 土師器甕 - RA026



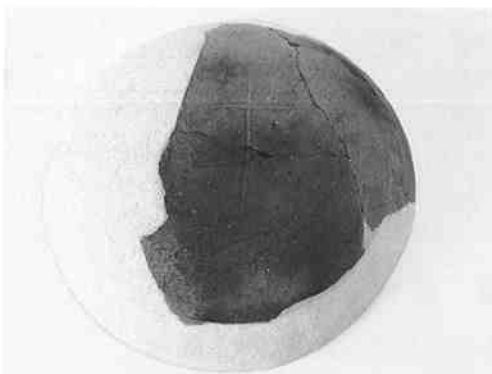
070 土師器甕 - RA026



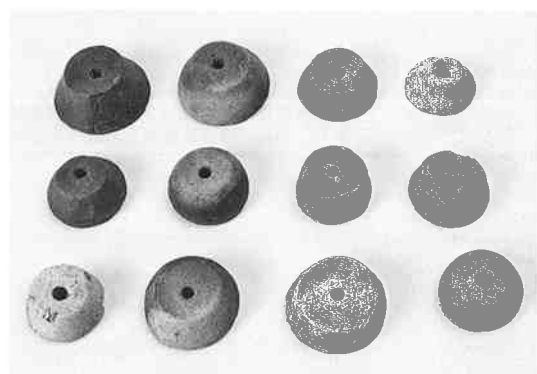
071 土師器甕 - RA026



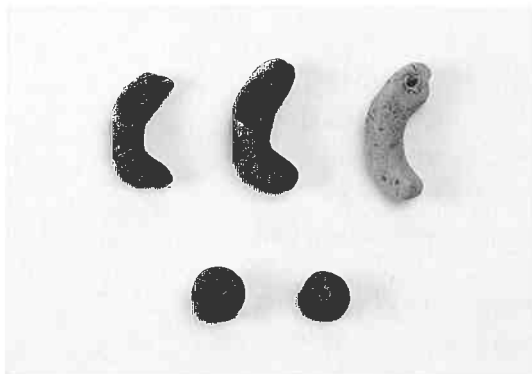
072 土師器甕 - RA029



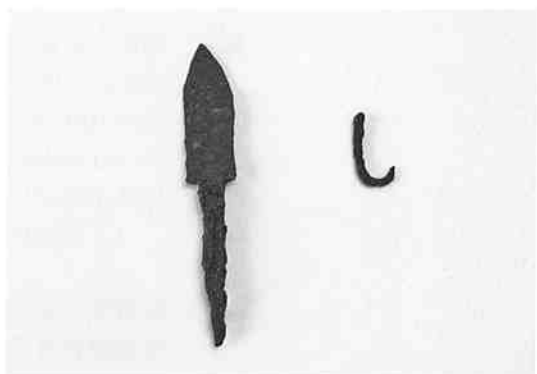
刻書土器「キ」(015-RA005)



土製品 (紡錘車)



土製品 (勾玉・丸玉)



鉄製品 (鉄鏃・釣針)

報 告 書 抄 録

ふりがな	たかやぐらエーいせき							
書名	高櫓A遺跡 ―「パークスクエア都南中央」宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書―							
編著者名	佐々木亮二・津嶋知弘							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館（刊行：宮城開発株式会社・盛岡市教育委員会）							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2009年11月30日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	(世界測地系)			(㎡)	
たかやぐらエー 高櫓A遺跡	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 ながい 永井24地割	03201		39° 39′ 01″	141° 09′ 27″	2次 2004.7.5 ～2004.10.7	2次 5,530	宅地造成
						3次 2006.6.1 ～2006.8.11	3次 3,703	宅地造成
						5次 2009.6.29 ～2009.7.15	5次 1,400	宅地造成
							計	
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
高櫓A遺跡 2・3・5次調査	集落	古代(奈良・平安)		竪穴住居跡 34棟 円形周溝 2基		土師器(甕, 坏, 甗ほか) 土製品(勾玉, 丸玉, 紡錘車)		
		古代以降		竪穴状遺構 6基 土坑 22基 溝跡 4条 焼土遺構 1基		石製品(砥石) 鉄製品(鉄鏃, 釣針)		
		近世以降		掘立柱列群		陶磁器		
要約	高櫓A遺跡は、朝廷により城柵「志波城」が設置された前後の、8世紀後半～9世紀初頭の竪穴住居による集落であり、当地に律令支配が及ぶ前後の蝦夷（エミシ）集落の様子を示す貴重な資料が得られた。							

高 櫓 A 遺 跡

―「パークスクエア都南中央」宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書―

平成21年11月30日

編集 盛岡市遺跡の学び館
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1
電話 019-635-6600 ファクス 019-635-6605
E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp
URL [http://www.city.morioka.iwate.jp/
14kyoiku/iseki/manabikan/index.html](http://www.city.morioka.iwate.jp/14kyoiku/iseki/manabikan/index.html)

発行 宮城開発株式会社：盛岡市中央通1丁目13-55
盛岡市教育委員会：盛岡市津志田14-37-2

印刷 株式会社杜陵印刷：盛岡市みたけ2丁目22-50